

平成25年度 全国学力・学習状況調査

調査結果のポイント

平成25年8月

文 部 科 学 省

国立教育政策研究所

目次

1. 調査の概要	1
2. 教科に関する調査	2
○正答の状況	2
○教科に関する調査の結果（小学校）	3
○教科に関する調査の結果（中学校）	15
○過去の調査問題との同一問題の正答率の比較	27
3. 質問紙調査	28
4. 都道府県の状況（公立）	49
○都道府県別・平均正答率一覧	50
○都道府県別・児童生徒の正答率分布一覧	52
参考 調査結果の概要	60

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童
中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全生徒

(3) 調査の内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題
- 〔・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- ・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題

②質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査

〔※なお、平成25年度調査は、きめ細かい把握・分析ができるよう複数冊子化（共通項目を含む、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの3冊子を作成）して実施。各冊子は、各都道府県内においてできるだけ偏りなく実施されるよう学校単位で割り振り、各学校は割り振られた1冊子のみ調査を実施。〕

- ・学校に対する調査

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査日時

平成25年4月24日（水）

(6) 平成25年4月24日（水）に調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

	対象学校数	学校数（実施率）	児童数
公立学校	20,458校	20,418校(99.8%)	1,108,272人
国立学校	76校	74校(97.4%)	7,179人
私立学校	212校	98校(46.2%)	5,713人
合計	20,746校	20,590校(99.2%)	1,121,164人

【中学校調査】

	対象学校数	学校数（実施率）	生徒数
公立学校	9,886校	9,752校(98.6%)	1,027,458人
国立学校	81校	77校(95.1%)	10,218人
私立学校	744校	355校(47.7%)	33,157人
合計	10,711校	10,184校(95.1%)	1,070,833人

2. 教科に関する調査

○正答の状況

○ 教科に関する調査の正答の状況は、次のとおりである。

【小学校調査】

教科	平均正答数	平均正答率
国語A	11.3問／18問	62.9%
国語B	5.0問／10問	49.6%
算数A	14.7問／19問	77.3%
算数B	7.6問／13問	58.6%

【中学校調査】

教科	平均正答数	平均正答率
国語A	24.6問／32問	76.8%
国語B	6.1問／9問	68.0%
数学A	23.1問／36問	64.3%
数学B	6.8問／16問	42.4%

○調査時間についての児童生徒の反応

○ 解答時間が「やや足りなかった」または「全く足りなかった」と回答した児童生徒の割合は、次のとおりである。

小学校調査				中学校調査			
国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
48.7%	40.4%	23.5%	27.8%	6.2%	21.7%	9.6%	33.7%

○教科に関する調査の結果（小学校）

（１）国語

○調査問題の趣旨・内容

国語 A — 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。

- （例）
- ことわざの意味を理解する。
 - 資料を読み、分かったことを的確に書く。
 - 広告を読み、編集の特徴を捉える。
 - スピーチの表現の工夫を捉える。

国語 B — 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。

- （例）
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして助言をする。
 - 目的や意図に応じ、内容を関係付けるなどしながら、リーフレットを編集する。
 - 2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉えるとともに、本や文章の読み方の違いを明確にする。

○課題等

全体的な状況

- ◆ 下の学年で習得しておくべき基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に不十分なものがあり、指導の充実が求められる。
 - ・ 漢字を書くこと〔A¹_二〕
 - ・ 文が句点によって区切られることへの理解〔A³_一〕
- ◆ 過去の調査との関連を見ると、複数の内容を含む文や文章を分析的に捉えたり関連付けたりしながら、自分の考えを書くことについて、依然として課題がある。
 - ・ 複数の内容を含む文について、主語と述語との関係や接続語の役割を押さえながら文を分析的に捉えること〔A³_{二(1)}〕
 - ・ 目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを書くこと〔B²_三〕

話すこと・聞くこと

- ◆(A) スピーチの表現を工夫することに課題がある。〔A⁷〕
- ◆(B) 話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をすることに課題がある。〔B¹_二〕

書くこと

- ◆(A) 目的に応じて資料を読み、全体から分かることを書くことに依然として課題があり、指導の充実が求められる。〔A⁴〕
- ◆(B) 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用したり複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くことについて、依然として課題があり、指導の充実が求められる。〔B²_{二・三}〕

読むこと

- ◆(A) 俳句の情景を捉えることに課題がある。〔A⁶〕
- ◆(B) 推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由、それぞれの本や文章の読み方の違いを捉えることに課題がある。〔B³_{一・二}〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 今回出題した漢字の読みについては、相当数の児童ができているものがある。〔A¹_一〕
- ◆(A) 今回出題した漢字の書きの定着状況に課題があるものがあり、指導の充実が求められる。〔A¹_二〕
- ◇(A) 今回出題したことわざの意味理解については、相当数の児童ができているものがある。〔A²〕

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…国語A、B…国語B
〔 〕内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

○ 相手の立場や状況を踏まえ、適切かつ効果的に助言をする指導の充実

- ・ 助言をする際は、相手の立場や状況を十分に感じ取ろうとする共感的な態度で相手が話す内容を理解するとともに、自分の考えを明確にしなが言葉遣いに注意することが重要である。また、具体的な意見や提案を一方的に伝えるのではなく、相手が自ら課題を解決できるような助言となるように指導することも大切である。

書くこと

○ 意見を述べた文章や活動を報告する文章などを目的に応じて編集する指導の充実

- ・ 自分の課題について調べ、意見を述べた文章や活動を報告する文章などを各自で編集したり、あるいはグループで共同して調べ、分担して持ち寄って内容を編集したりすることが重要である。そのためには、目的や意図を明確にし、どのような観点で取材し、どのような構成や文体にして書くのかを具体的に指導することが必要である。その際、目的や意図に応じた編集として章立てや節などを工夫するとともに、題名や前書き、目次、後書き、奥付などを付け、実際の本や新聞、雑誌、パンフレットなどの編集に合わせるようにすることが大切である。

読むこと

○ 自他の読み方を交流し、効果的な読み方を工夫する指導の充実

- ・ 本や文章を読んで、感想や紹介、推薦の文章を書くためには、本や文章の選択の仕方や読み方を工夫することが重要である。例えば、本や文章の選択の仕方としては、一編の話に限定するのか、数編の文章が所収された本を対象にするのかという違いに着目することができるように指導することが大切である。また、同じ作者やテーマに即して本や文章を取り上げるのか、あるいは、違う作者やテーマを取り上げるのかなどに着目する必要もある。さらに、読み方としては、登場人物や作品の構造、表現・叙述、視点などの観点に基づき、それらに関係付けて読むとともに、自他の読み方の工夫などについて交流することが大切である。

これらを考慮し、各自の読み方の自覚化を図るとともに、多様な選書の仕方や効果的な読み方を工夫することができるように指導することが重要である。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

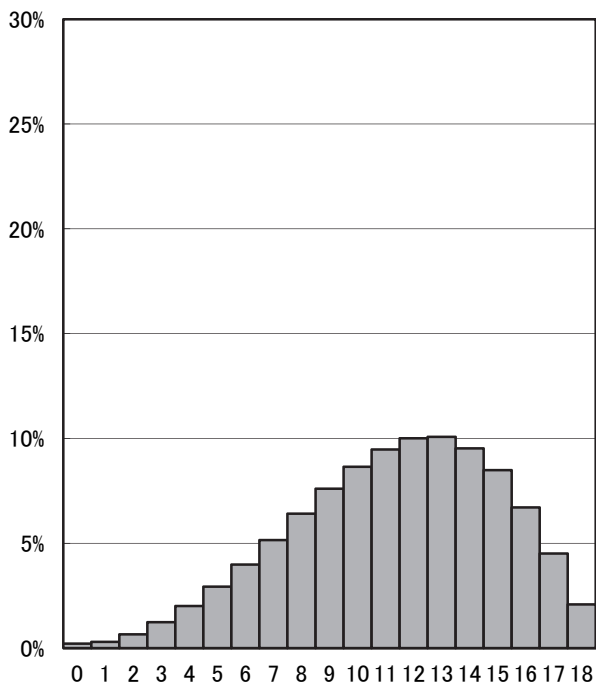
○ 文の定義を理解し、構成に注意する指導の充実

- ・ 文の定義や文及び文章の構成については、学年の段階に応じた指導が重要である。第1・2学年においては、「文の中における主語と述語との関係に注意すること」、第3・4学年においては、「指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと」、第5・6学年においては、「文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること」をそれぞれ重点的に指導することが大切である。特に第5・6学年では、文の構造として単文、重文、複文などがあることを理解できるようにすることが大切である。そのためには、1つの内容を1つの文に簡潔に書いたり、2つ以上の内容を、必要に応じて1つの文にまとめて書いたりする指導が考えられる。また、その反対に、2つ以上の内容が含まれた1文を内容ごとに複数の文に分けて書いたり、箇条書きにしたりするなど、言語を操作する指導も大切である。

【小学校国語A】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,121,137人	11.3問/18問	62.9%	12.0問	3.7	13問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



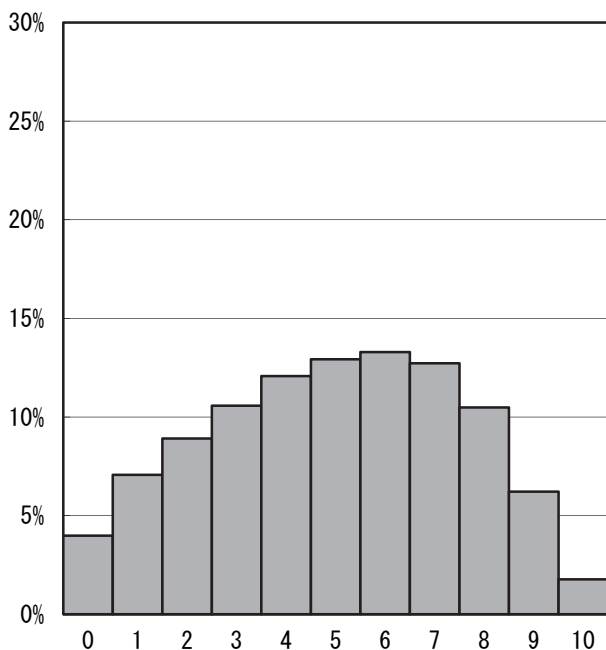
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	43.5
	書くこと	4	53.2
	読むこと	3	60.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 5	62.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	45.1
	話す・聞く能力	1	43.5
	書く能力	4	53.2
	読む能力	3	60.3
	言語についての知識・理解・技能	1 5	62.8
問題形式	選択式	7	66.5
	短答式	1 0	62.1
	記述式	1	45.1

【小学校国語B】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,120,968人	5.0問/10問	49.6%	5.0問	2.6	6問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	65.0
	書くこと	4	43.9
	読むこと	4	48.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	64.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2	42.6
	話す・聞く能力	3	65.0
	書く能力	4	43.9
	読む能力	4	48.1
	言語についての知識・理解・技能	1	64.0
問題形式	選択式	3	59.9
	短答式	5	46.1
	記述式	2	42.6

【小学校国語A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
1- (1)	漢字を読む (乗り物の券を買う)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			56 (1)ウ (ア)					○		○		98.9	0.5
1- (2)	漢字を読む (子孫のためにゴミをへらす)				56 (1)ウ (ア)					○		○		79.4	2.2
1- (3)	漢字を読む (めずらしい植物を採集する)				56 (1)ウ (ア)					○		○		65.0	3.1
1二 (1)	漢字を書く (魚をやく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			56 (1)ウ (ア)					○		○		72.6	5.5
1二 (2)	漢字を書く (バスがていしゃした)				56 (1)ウ (ア)					○		○		47.1	10.9
1二 (3)	漢字を書く (委員会をもうける)				56 (1)ウ (ア)					○		○		53.7	27.2
2-	ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)	ことわざの意味を理解する			34 (1)ア (イ)					○		○		71.3	1.2
2二	ことわざの意味として適切なものを選択する (急がば回れ)				34 (1)ア (イ)					○		○		86.2	1.1
3-	文のはじめの5文字を丸で囲む	文の定義を理解する			12 (1)イ (カ)					○		○		36.9	20.1
3二 (1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	56 ウ		34 (1)イ (ク)				○		○		23.6	10.2	
3二 (2)	「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する	接続語「だから」のもつ働きを理解する			34 (1)イ (ク)					○		○		83.4	3.4
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く	56 エ						○			○		72.6	11.8
4イ			56 エ						○			○		71.5	18.0
4ウ			56 エ		○		○						○		45.1
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	広告を読み、編集の特徴を捉える		56 ウ	56 (1)イ (キ)				○	○	○		61.3	9.2	
5イ			56 ウ	56 (1)イ (キ)				○	○	○			71.9	10.2	
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える		56 エ	34 (1)ア (ア)					○	○	○		47.7	14.3
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	スピーチの表現を工夫する	56 イ		56 (1)イ (ケ)				○		○	○		43.5	21.8

【小学校国語B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式		
1ー	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	相手の立場や状況を感じ取って聞く	56イ							○			○			78.9	1.2	
1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする	56イエ							○			○			48.8	1.2	
1三	川本さんの助言についての説明を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする	56イエ	56ウ					○	○	○			○		67.3	9.6	
2ー	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える		56ウオカ			34(1)イ(ク)				○		○		○	64.0	4.3	
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く		56エオカ							○			○		26.5	13.2	
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く		56エオカ					○	○				○		17.9	20.3	
3ーア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く	2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える		56エカ							○			○		50.0	15.6	
3ーイ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く			56エカ								○			○		45.4	28.7
3ーウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く			56エカ								○			○		44.8	30.4
3二	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する	2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える		56イカ								○		○		52.1	10.5	

(2) 算数

○調査問題の趣旨・内容

算数A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 整数, 小数, 分数の四則計算をする。
■ 単位量当たりの大きさを求める式と商の意味として正しいものを選ぶ。
■ 合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ。
■ 基準量と割合を基に, 比較量の大きさとして適切なものを選ぶ。

算数B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 示された情報を基に条件に合うものを選択し, その理由を記述する。
■ 表の数値を基に, 二つの数量の関係が比例していない事実を記述する。
■ 単位量当たりの大きさに着目して筋道を立てて考え, 数量の関係を記述する。
■ 基準量と割合の変化から比較量の大小を判断し, その理由を記述する。

○課題等

全体的な状況

- ◆ 図や表を観察して, 問題の解決に必要な情報を選択することに課題がある。
 - ・ 円柱の側面の辺の長さを求めるために, 必要な情報を見取図から読み取ること。〔A7〕(2)
 - ・ 複数の条件全てに当てはまる乗り物を判断すること。〔B1〕(1)
- ◆ 場面の状況や操作の意味に基づいて, 式を的確に読むことについて課題があり, 全学年を通じて指導の充実が求められる。
 - ・ 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること。〔A4〕
 - ・ 示された平均を求める式から, その計算の結果が何を求めているのかについて理解すること。〔B2〕(1)

数と計算

- ◆ (A) 四捨五入で数を適切に処理する方法についての理解に課題がある。〔A2〕
- ◆ (B) 示された三つの処理の仕方から, 最も合理的な処理の仕方を選択し, その理由を記述することに課題がある。〔B1〕(2)

量と測定

- ◇ (A) 測定の目的に応じて, 計器を選択することについては相当数の児童ができています。〔A5〕(1)
- ◆ (A) 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がある。〔A4〕
- ◆ (B) 示された分割の仕方を解釈し, 面積が等しくなることを言葉と数を用いて記述することに課題がある。〔B3〕(2)

図形

- ◆ (A) 合同な図形をかくために必要な条件を理解することに課題がある。〔A6〕
- ◇ (B) ものの位置の表し方を理解し, 特定することについては, 相当数の児童ができています。〔B4〕(2)

数量関係

- ◇ (A) 棒グラフの目盛りの数値に着目して, 最大値を読み取することは, 相当数の児童ができています。〔A9〕
- ◆ (B) 二つの数量の関係が比例の関係でないことを記述することに課題があり, 特に, 根拠となる数値を示して記述することに指導の充実が求められる。〔B2〕(3)
- ◆ (B) 割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し, その理由を記述することについて依然として課題があるが, 改善の傾向がみられる。〔B5〕(2)

◇…相当数の児童ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は, A…算数A, B…算数B

[]内の記号は, 問題番号

○指導改善のポイント

数と計算

- 数直線等を活用して、指定された概数になる数の範囲を捉える活動の充実
 - ・ 概数による処理を適切に行うためには、四捨五入して指定された概数になる数の範囲を捉えるようにすることが大切である。また、概数を用いるときは、その目的を明確にしながらい方を理解できるようにすることが大切である。
- 筋道を立てて考えた過程について振り返る活動の充実
 - ・ 問題を解決するときには、筋道を立てて考え、考えを説明したり記述したりする活動とともに、解決した過程を振り返り、考えの説明や記述を見直すことで、よりよい表現へと高めることが大切である。

量と測定

- 単度量当たりの大きさを求める場面や意味を理解する指導の重視
 - ・ 単度量当たりの大きさで比較することは、単位となる大きさを1にそろえて比較していることであると理解することが重要である。特に、二つの数量のどちらを単位とするかによって、数値の比較の仕方が異なることを理解し、目的に応じて適切に処理できるようにすることが大切である。
- 言葉や数、式、図、表、グラフなどの表現を関連付けて考える活動の充実
 - ・ 問題を解決するときには、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し、伝え合ったりする活動を充実することが大切である。その際、図や言葉などの表現を関連付け、問題を解決する過程における操作や説明の意味を明らかにすることで、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにすることが大切である。

図形

- 合同な図形をかいたり、作ったりする算数的活動を基にした指導の重視
 - ・ 作業的、体験的な算数的活動を基に、合同な三角形をかいたり、作ったりする条件を実感的に理解することが大切である。また、合同についての理解を深めるために、合同な図形をかいたり、作ったりできない場面についても取り上げ、図形が一つに決まる意味を明確にすることが大切である。
- 見取図や展開図の見方が確実にできるようにする指導の重視
 - ・ 見取図や展開図から具体的な立体図形を想像したり、具体的な立体図形を基に見取図や展開図に表したりすることが大切である。また、見取図や展開図の表現に慣れ親しみ、かいたり読んだりする指導を重視し、立体図形についての理解を深めることが大切である。

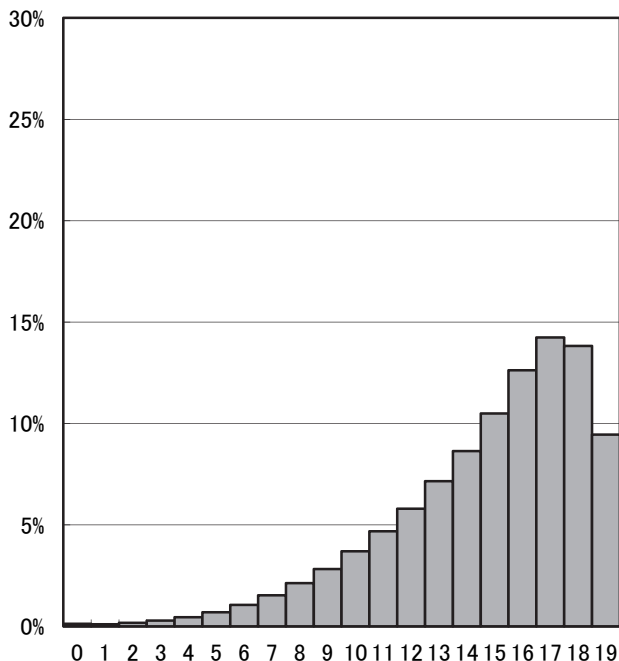
数量関係

- 式や計算の結果の意味を確実に理解できるようにする指導の重視
 - ・ 式の指導においては、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表したり、場面から式や計算の結果の意味を読み取り、言葉や図を用いて表したりできるようにすることが重要である。
- 表の数値を根拠として、二つの数量の関係が比例しているかどうかを説明する指導の重視
 - ・ 二つの数量の対応や変化の特徴を明らかにするためには、二つの数量の関係を表にまとめたり、表から規則性を読み取ったりすることが大切である。特に、見いだした二つの数量の関係が比例しているかどうかについて、表の数値を根拠として説明することが大切である。
- 割合の考えを用いて論理的に説明する指導の重視
 - ・ 割合に関する問題解決の場面で $(\text{基準量}) \times (\text{割合}) = (\text{比較量})$ の関係を根拠にして、式や言葉で理由を説明できるようにすることが大切である。

【小学校算数A】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,121,164人	14.7問/19問	77.3%	16.0問	3.5	17問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



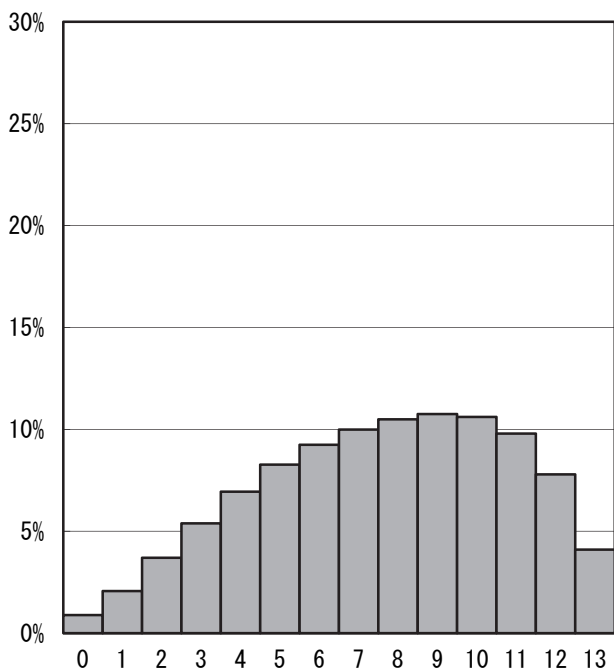
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	8	80.3
	量と測定	4	68.4
	図形	3	72.7
	数量関係	4	83.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	0	
	数量や図形についての技能	8	86.3
	数量や図形についての知識・理解	11	70.7
問題形式	選択式	8	68.4
	短答式	11	83.8
	記述式	0	

【小学校算数B】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,121,003人	7.6問/13問	58.6%	8.0問	3.2	9問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	3	48.5
	量と測定	7	56.2
	図形	3	79.4
	数量関係	7	55.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	8	47.0
	数量や図形についての技能	1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	4	77.3
問題形式	選択式	4	74.0
	短答式	4	62.0
	記述式	5	43.5

【小学校算数A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	$243 - 65$ を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	3A (2)イ											88.3	0.2
1 (2)	$0.75 + 0.9$ を計算する	小数の加法の計算をすることができる	4A (5)イ											71.5	0.3
1 (3)	9.3×0.8 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	5A (3)イ											83.8	0.4
1 (4)	$6 \div 5$ を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	4A (5)ウ											88.4	1.4
1 (5)	$16 - (6 + 3)$ を計算する	() を用いた整数の計算をすることができる				4D (2)ア								94.4	0.8
1 (6)	$2と5 \div 7 + 1と1 \div 7$ を計算する	同分母の分数の加法の計算をすることができる	4A (6)イ											88.9	2.0
1 (7)	$2 \div 9 \times 4$ を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる	5A (4)カ											89.6	1.7
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している	4A (2)イ											60.4	1.9
3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している	4A (3)ウ											71.8	1.8
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している				5B (4)ア								50.2	0.8
5 (1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ	曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している				3B (2)								97.4	0.4
5 (2)	1a (1アール) と等しい面積になる正方形の一辺の長さを選ぶ	1a (1アール) の面積と等しい正方形の一辺の長さを理解している				4B (1)アイ								52.5	1.1
5 (3)	上底3cm, 下底8cm, 高さ4cm, 斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解している				5B (1)ア								73.5	2.1
6	三角形ABCと合同な三角形をかきことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかきするために必要な条件を理解している				5C (1)イ								60.9	1.0
7 (1)	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く	円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さとは対応していることを理解している				5C (2)ア								90.6	2.1
7 (2)	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さを求める式と答えを書く	円柱について、底面の円周の長さと展開図の側面の辺の長さとは対応していることを理解している				5C (1)エ 5C (2)ア								66.5	5.7
8 (1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している				5D (3)								76.9	2.2
8 (2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ	割合が100%を超えると、基準量と比較量の大きさの関係を理解している				5D (3)								77.1	2.8
9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さで最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる				3D (3)ア								85.8	2.8

【小学校算数B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式			記述式	
1 (1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる	1A (2)イ			4D (4)ア							○		51.2	3.0
1 (2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかわきを選択し、そのわけを書く	三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述できる	3A (2)イ 3A (3)イ												51.0	0.9
2 (1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している		5B (3)ア		4D (2)ア									51.9	3.3
2 (2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択することができる		5B (3)ア		4D (2)ア									75.8	1.3
2 (3)	示された実験の結果から、ふりこの長さ10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる		2B (1)ア 3B (3)ア		5D (1)ア									35.4	18.8
3 (1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ	図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることができる		4B (1)イ 5B (1)ア		2C (1)イ 5C (1)イ									87.4	0.8
3 (2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる		5B (1)ア											42.8	15.5
3 (3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ	長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択することができる		5B (1)ア		4C (1)イ									56.5	3.6
4 (1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる	4A (2)ア 4A (3)イ		5B (4)ア										43.4	11.3
4 (2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す	示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる				4C (3)									94.2	2.6
4 (3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができる				4D (2)ア アイ									50.9	7.3
5 (1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる				3D (3)ア 4D (4)イ									76.2	5.1
5 (2)	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる				5D (3) 5D (4)									44.7	7.8

○調査問題の例 小学校算数

A問題4 単位量当たりの大きさ

AとBの2つのシートがあります。



下の表は、シートの上ですわっている人数とシートの面積を表しています。

すわっている人数とシートの面積

	人数(人)	面積(m ²)
A	12	6
B	8	5

どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

$$A \quad 12 \div 6 = 2$$

$$B \quad 8 \div 5 = 1.6$$

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 1 m² あたりの人数は2人と1.6人なので、Aのほうがこんでいる。
- 2** 1 m² あたりの人数は2人と1.6人なので、Bのほうがこんでいる。
- 3** 1人あたりの面積は2 m²と1.6 m²なので、Aのほうがこんでいる。
- 4** 1人あたりの面積は2 m²と1.6 m²なので、Bのほうがこんでいる。

問題の概要(正答率)

AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ(50.2%)

正答

1

○教科に関する調査の結果（中学校）

（１）国語

○調査問題の趣旨・内容

国語Ａ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- （例）
- 話合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する。
 - 出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く。
 - 前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する。
 - 「かすみ」や「雲」のように見えたものを本文中から抜き出す。

国語Ｂ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- （例）
- 「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く。
 - 文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く。
 - 間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する。

○課題等

全体的な状況

- ◆ 具体的な言語活動の中で、基礎的・基本的な知識・技能を適切に使うことに課題がある。
 - ・ 話合いの方向性を捉えて話すこと〔A1二〕
 - ・ 文章の構成や表現の特徴について自分の考えをもつこと〔B3一〕 など
- ◆ 解答した内容を客観的に見直してよりよくすることに課題がある。
 - ・ 伝えたい事柄を明確にして書くこと〔A3二〕
 - ・ 根拠を明確にして自分の考えを書くこと〔B2三, B3三〕 など

話すこと・聞くこと

- ◇◆(A) 話合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことについて、司会の役割を理解することは相当数の生徒ができていますが、個々の発言の内容を整理しながら話合いの方向を捉えて話すことに課題がある。〔A1一, 二〕

書くこと

- ◆(A) 書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直すことに課題がある。〔A3一〕
- ◆(A) 文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くことに課題があり、指導の充実が求められる。〔A3二〕
- ◆(B) 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに、依然として課題がある。〔B2三, B3三〕

読むこと

- ◇(A) 描写の効果を考え、内容を理解することは、相当数の生徒ができています。〔A2二〕
- ◇(A) 文脈の中における語句の意味を理解することは、相当数の生徒ができています。〔A5一〕
- ◆(B) 図と文章との関係を捉えることに課題がある。〔B1二〕
- ◆(B) 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がある。〔B1三〕
- ◆(B) 文章の構成や表現の特徴について自分の考えをもつことに、依然として課題がある。〔B3一〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 漢字の楷書と行書との違いを理解して楷書を書くことは、相当数の生徒ができています。〔A8四〕
- ◆(A) 比喻を用いた表現について理解することに課題がある。〔A8七1〕
- ◆(A) 文脈に即して漢字を正しく書くこと、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。〔A8一2, 3, 三ア, イ〕

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…国語A、B…国語B

[]内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

○ 司会の役割を理解し、状況に応じてその役割を果たす指導の工夫

- ・ 話合いの方向を捉えて司会の役割を果たす力を身に付けるために、具体的な場面を設定して司会の果たす役割を確認するとともに、参加者へどのように声を掛けるのが適切かを具体的に考えるように指導することが大切である。その際、話合いの状況によって司会の声の掛け方が複数ある場合があることを確認することが重要である。

書くこと

○ 目的に応じて、情報の取り上げ方や書き方を工夫して書く指導の工夫

- ・ 情報を整理して分かりやすく書く力を身に付けるために、目的や相手に応じて、取り上げる情報、それを示す順番などの観点で書いた文章を読み直し、よりよい文章にするように指導することが重要である。

○ 根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書く指導の工夫

- ・ 自分の考えを具体的に書く力を身に付けるために、本や文章のどの部分に特に興味や関心をもったのかを明確に示した上で、なぜそこに着目したのか、その内容について自分はどのように考えるのかなどを丁寧に書くように指導することが大切である。その際、例えば、引用した箇所と自分の考えとの関連、根拠として取り上げた内容の妥当性、自分の考えの広がりや深まりの有無など、書いた文章を複数の観点から見直すことが重要である。

読むこと

○ 調べる手段の特徴を理解し、見通しをもって情報を集める指導の工夫

- ・ 目的に応じて情報を収集し、課題を解決する力を身に付けるために、具体的な言語活動を設定し、明確な目的をもって本や文章を読み、自分の課題の解決に適した手段を選ぶように指導する必要がある。そのためには、情報を収集する手段の特徴を確認するとともに、複数の手段を用いて情報を収集し、自分が設定した課題に応じて収集した情報を整理する学習などを設定することが大切である。

○ 目的に応じて、文章の特徴を捉える指導の工夫

- ・ 目的に応じて必要な情報を収集する力を身に付けるために、実生活における様々な文章を取り上げ、文章の構成や展開、表現の特徴などに注意して読むように指導する必要がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○ 表現の技法について理解したことを各領域等の指導に生かす工夫

- ・ 小学校での学習を踏まえ、文章中の具体的な表現と結び付けながら、比喩や反復などの表現の技法について理解し、その名称とともに整理するように指導することが大切である。

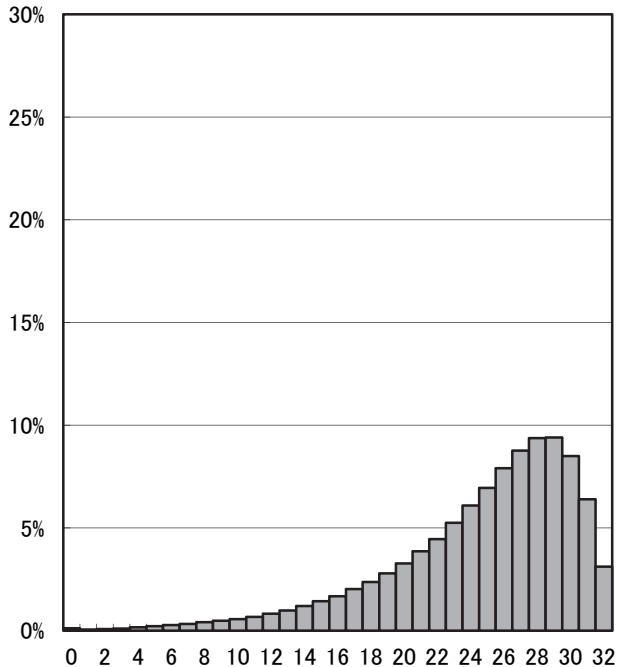
○ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにする指導の工夫

- ・ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにするために、辞書等を使って、なじみの薄い語句や使用頻度の低いと思われる漢字などを積極的に調べる機会を意図的に設ける必要がある。その上で、調べたことを「話すこと・聞くこと」や「書くこと」などの学習に生かしていくように指導することが大切である。

【中学校国語A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,070,187人	24.6問/32問	76.8%	26.0問	5.6	29問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



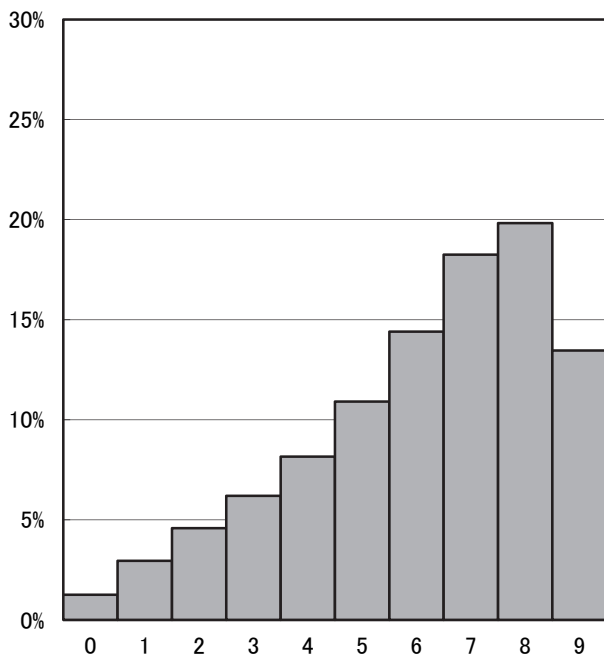
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	78.0
	書くこと	4	65.1
	読むこと	6	80.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	78.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	78.0
	書く能力	4	65.1
	読む能力	6	80.5
	言語についての知識・理解・技能	18	78.0
問題形式	選択式	21	77.7
	短答式	11	75.2
	記述式	0	

【中学校国語B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,070,437人	6.1問/9問	68.0%	7.0問	2.3	8問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0	
	書くこと	3	63.2
	読むこと	8	68.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	65.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	63.2
	話す・聞く能力	0	
	書く能力	3	63.2
	読む能力	8	68.3
	言語についての知識・理解・技能	1	65.1
問題形式	選択式	5	68.8
	短答式	1	78.0
	記述式	3	63.2

【中学校国語A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式	
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものと適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1才					○				○			90.7	0.2
1二	話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1才					○				○			55.2	0.2
2一	「おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもしろ」と筆者が述べたものとして適切なものを選択する	描写に注意して読み、内容を理解する			1ウ					○		○			76.5	0.3
2二	「あの枯れ枝の梢を……うれしげであることだろう。」と筆者が感じた理由を説明したものとして適切なものを選択する	描写の効果を考え、内容を理解する			2イ						○	○			87.0	0.5
3一	見出しを変更した理由として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直す	2エ							○		○			58.7	0.8
3二	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く	文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く	2ウ							○			○		49.6	5.8
4一	「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として適切なものを選択する	文章の表現の特徴を捉える			1エ						○	○			85.2	0.3
4二	前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ						○	○			70.6	0.3
5一	米の断面図に入る言葉として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア						○	○			87.1	0.4
5二	「小麦はそういうわけにはいきません」と述べている理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を捉える			1イ						○	○			76.2	0.4
6一	取材の仕方の説明として適切なものを選択する	話すための材料を多様な方法で集める	2ア							○		○			84.9	0.7
6二	カードを使って話す際に使用する言葉の組合せとして適切なものを選択する	論理的な構成や展開を考えて話す	2イ							○		○			81.2	0.8
7一	比較の対象が明確に分かるように書く	伝えたい事柄を明確にして書く			2エ						○		○		74.1	4.2
7二	内容に応じて第二段落を二つに分ける	段落の役割を考えて文章を構成する			1イ						○	○			78.0	1.1
8一1	漢字を書く(大きなキボウをもつ)	文脈に即して漢字を正しく書く			2(1)ウ(4)							○		○	87.7	2.9
8一2	漢字を書く(おやつをキントウに分け合う)				2(1)ウ(4)							○		○	60.2	11.5
8一3	漢字を書く(着物に合わせてオビを選ぶ)				2(1)ウ(4)							○		○	67.4	14.8
8二1	漢字を読む(異論を唱える)	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1)ウ(7)							○		○	93.4	2.6
8二2	漢字を読む(社会を風刺する)				2(1)ウ(7)							○		○	71.4	4.7
8二3	漢字を読む(山々が連なる)				2(1)ウ(7)							○		○	89.7	2.6
8三ア	適切な語句を選択する(今年の夏の暑さには閉口した)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			2(1)イ(4)							○	○		47.4	1.7
8三イ	適切な語句を選択する(友達に将来の抱負を話す)				1(1)イ(9)							○	○		63.0	0.8
8三ウ	適切な語句を選択する(あこがれの仕事に就く)				2(1)イ(4)							○	○		96.4	0.7
8三エ	適切な語句を選択する(直前になって、二の足を踏む)				1(1)イ(9)							○	○		85.1	0.9
8三オ	適切な語句を選択する(にわかには強い雨が降り出し、人々はあわてた)				1(1)イ(9)							○	○		81.8	0.9
8三カ	適切な語句を選択する(彼には、いくら言っても「馬の耳に念仏」で効果がない)				1(1)イ(9)							○	○		90.5	1.1
8四	行書を楷書で書く	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く			1(2)イ							○		○	96.5	1.4
8五1	「母がイギリスに帰りました。」という言い方が正しい理由として適切なものを選択する	敬語の働きについて理解する			2(1)イ(7)							○	○		70.4	1.0
8五2	適切な敬語を選択する	文脈の中で敬語を適切に使う			2(1)イ(7)							○	○		91.5	1.0
8六	「すさまじい」と修飾・被修飾の関係にあるものを選択する	修飾語と被修飾語の照応について理解する			2(1)イ(9)							○	○		74.0	1.4
8七1	「かすみ」や「霞」のように見えたものを本文中から抜き出す	比喩を用いた表現について理解する			1(1)イ(4)							○		○	53.2	3.6
8七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(にほふ)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1(1)ア(7)							○		○	83.8	5.3

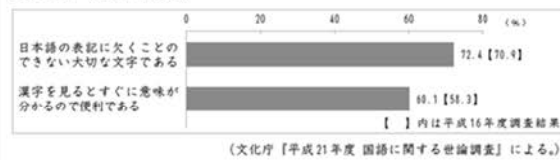
【中学校国語B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式
1一	段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える			1 エ					○		○			72.3	0.4
1二	図が示す内容を説明したものとして適切なものを選択する	図と文章との関係を捉える			2 イ					○		○			63.4	0.3
1三	「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える		1 ア	1 カ	○			○	○			○	58.5	2.7	
2一	エヌ氏の生活について説明した言葉を本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える			1 ウ					○		○		78.0	2.6	
2二	表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、その効果を考える			1 エ					○		○		76.0	0.5	
2三	文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く	文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く		1 ウ	1 オ	○			○	○			○	66.2	11.0	
3一	新聞記事の書き方の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や表現の特徴を捉える			1 エ					○		○		61.6	0.9	
3二	資料がどのような疑問を解決するための参考になるのかを説明したものとして適切なものを選択する	情報を関連させて読む			1 カ					○		○		70.9	1.1	
3三	間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する	漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書く		2 ウ		2 (1) ウ (イ)	○		○	○			○	65.1	5.2	

B問題③ 資料を参考に、漢字について考える

小川さんがまとめた【資料】

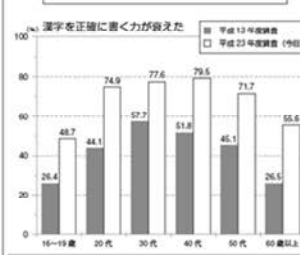
漢字についての主な意識



- 【新聞記事】の書き方の特徴を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。
- 1 始めに要点をまとめて述べた上で、具体的な数値を取り上げて詳しく書いている。
 - 2 始めに書き手の意見を述べた上で、複数の見方を取り上げて多面的に書いている。
 - 3 問題の解決方法を見出しで示した上で、グラフを用いて分かりやすく書いている。
 - 4 最新の情報を見出しで示した上で、出来事の流れを時間の経過に沿って書いている。
- 二 小川さんがまとめた【資料】は、どのような疑問を解決するための参考になりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。
- 1 携帯電話や電子メールなどの情報交換手段が多様化したとあるが、生活の中で漢字を書く機会は減っているのか。
 - 2 漢字を書く力が衰えたと感じている人の割合が増えているが、漢字の必要性について人々はどうのように考えているのか。
 - 3 手で字を書くことが面倒くさく感じるようになった人の割合が増えているが、情報機器の普及と関係があるのか。
 - 4 手紙やはがきは余り利用しなくなったと感じている人の割合が増えているが、漢字を書く力と関係があるのか。

漢字、正確に書けますか?

文化庁 国語に関する世論調査



調査では、携帯電話や電子メールなどの普及による情報交換手段の多様化が、日常生活に影響を与えている例として思い当たることを複数選択で質問。その結果「漢字を正確に書く力が衰えた」と回答した人が大幅に増えた。年齢別に見ると、20代・50代で7割台となっており、平成13年度には2割台だった16・19歳と60歳以上でも、それぞれ、5割台と5割台半ばとなっている。

中学校の国語科教諭(47)は「似た形の文字の使い分けや同じ読み方をする語句の区別などについては、今後注意して教え、情報機器と上手に付き合えるようにさせたい」と話した。

平成24年9月21日(金)「全国新聞」朝刊より

③

次は、中学三年生の小川さんが興味をもった【新聞記事】と、それに関連して探した情報を小川さんがまとめた【資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

「書く力が衰えた」66・5%

問題の概要(正答率)

- 一 新聞記事の書き方の特徴を説明したのものとして適切なものを選択する(61.6%)

正答

- 一 1

(2) 数学

○調査問題の趣旨・内容

数学A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 正の数と負の数とその計算，文字式の計算をする。一元一次方程式を解く。
■ 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて，適切な記述を選ぶ。
■ 事象から一次関数の式を求める。
■ 平均値に関して，適切な記述を選ぶ。事象の起こる確率を求める。

数学B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 安静時心拍数が一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び，その理由を説明する。
■ 与えられた表やグラフを用いて，水温が80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明する。
■ まとめ直したヒストグラムの特徴を基に，学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する。
■ 基石全部の個数を， $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する。

○課題等

全体的な状況

- ◆ 数量の関係を文字式で表すことや多角形の外角の意味を理解することなど，身に付けておかなければ後の学習に影響を及ぼす内容の習得に課題がある。
〔A1(4)，A2(3)，A6(2)，A9，A11(2)など〕
- ◆ 数学的に表現したり，数学的に表現された事柄を読み取ったりすることに課題がある。
〔A2(2)，A7(2)，B6(2)など〕
- ◆ 数量の関係を一次関数とみなして問題を解決する方法や，資料の傾向からわかった事柄などを，他の事象に適用してもとの事象との関係を捉えることに課題がある。〔B3(3)，B5(3)など〕

数と式

- ◇(A) 具体的な事象における数量の関係を捉え，連立二元一次方程式をつくることについては，相当数の生徒ができています。〔A3(3)〕
- ◆(A) 実生活の場面において，ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解することに課題がある。〔A1(4)〕
- ◆(B) 事象を数学的に表現したり，数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して，事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することに課題があり，指導の充実が求められる。〔B6(2)，(3)〕

図形

- ◇(A) 見取図，投影図から空間図形を読み取ることについては，相当数の生徒ができています。〔A5(2)〕
- ◆(A) 角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を見いだすことについて，依然として課題がある。〔A4(2)〕
- ◆(B) 示された方針に基づいて証明することや，与えられた条件を整理したり，着目すべき性質を見いだしたりするなどして，証明の新たな方針を立てることに課題がある。〔B4(1)，(2)〕

関数

- ◇(A) 与えられた一次関数の式について， x の値に対応する y の値を求めることについては，相当数の生徒ができています。〔A11(1)〕
- ◆(A) 関数の意味を理解することに課題があり，指導の充実が求められる。〔A9〕
- ◆(B) 事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明することや，言葉で表現された事柄の数学的な意味を的確に捉え，他の事象との関係を考えることに課題がある。〔B3(2)，(3)〕

資料の活用

- ◆(A) 与えられたヒストグラムについて，ある階級の相対度数を求めることに課題があり，指導の充実が求められる。〔A14(2)〕
- ◆(B) 資料の傾向を的確に捉え，事柄の特徴を数学的に説明することに課題があり，指導の充実が求められる。〔B5(2)〕

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は，A…数学A，B…数学B
〔 〕内の記号は，問題番号

○指導改善のポイント

数と式

- **正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付ける活動の重視**
 - ・ 正の数と負の数の必要性和意味を理解できるようにするために、実生活の様々な場面における数量やその変化を、正の数と負の数を用いて表す活動を一層重視することが大切である。
- **事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実**
 - ・ 事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明する活動を充実することが大切である。
 - ・ 事象を多面的に見る活動を充実することが大切である。

図形

- **作図の方法を図形の対称性に着目して見直す活動の重視**
 - ・ 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線の作図の方法について、いずれも2つの円がそれらの中心を結ぶ直線に対して線対称であるという性質を用いていることを見だし、作図の方法を統合的に捉える活動を一層重視することが大切である。
- **証明の方針を立て、その方針に基づいて証明する活動の充実**
 - ・ 証明の方針を立てるために、結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見いだしたりする活動を充実することが大切である。
 - ・ 証明の方針に基づいて、事柄を記号で表したり、これらが成り立つ根拠を明らかにしたりして、仮定から結論を導く推論の過程を的確に表現する活動を充実することが大切である。

関数

- **関数の意味を理解し、関数関係を見いだす活動の重視**
 - ・ 様々な事象の中の2つの数量 x 、 y について、 y が x の関数であるかどうかを見いだすために、具体的な数を x に当てはめて、 y が一意に決まるかどうかを確かめる活動を一層重視することが大切である。
- **事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実**
 - ・ 事象の変化の様子について予測したり、実際のデータの特徴を分析したりする活動を充実することが大切である。
 - ・ 様々な問題を解決する際に、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」とその「使い方」について考え、説明する活動を充実することが大切である。

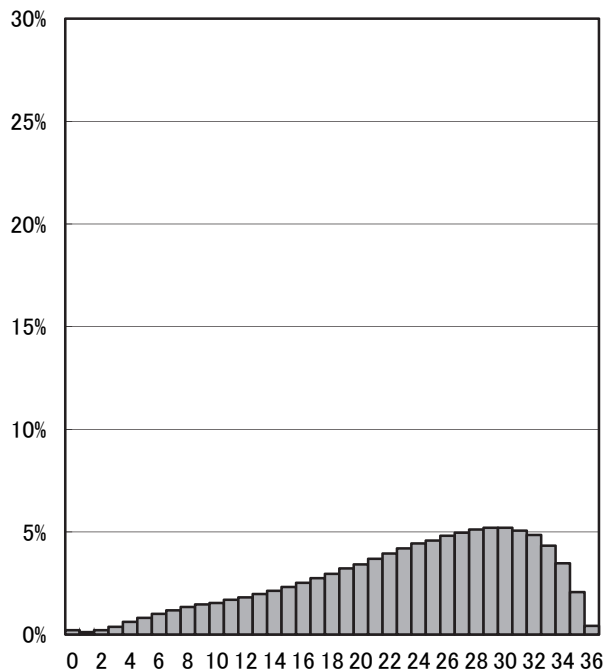
資料の活用

- **相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向を読み取る活動の重視**
 - ・ 相対度数の必要性和意味についての理解を深められるようにするために、ある階級の度数が総度数に占める割合を求めて、資料の傾向を読み取る活動を一層重視することが大切である。
- **読み取った資料の傾向を基に、事柄の特徴を数学的に説明する活動の充実**
 - ・ 目的に応じて資料を分類整理し、資料の傾向を読み取り、整理の仕方を工夫することで資料の傾向を捉え直したりする活動を充実することが大切である。
 - ・ 資料の傾向を読み取ってわかった事柄について、前提に当たる部分（主部）と、それによって説明される結論に当たる部分（述部）を明確にして表現する活動を充実することが大切である。

【中学校数学A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,070,833人	23.1問/36問	64.3%	25.0問	8.0	29問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



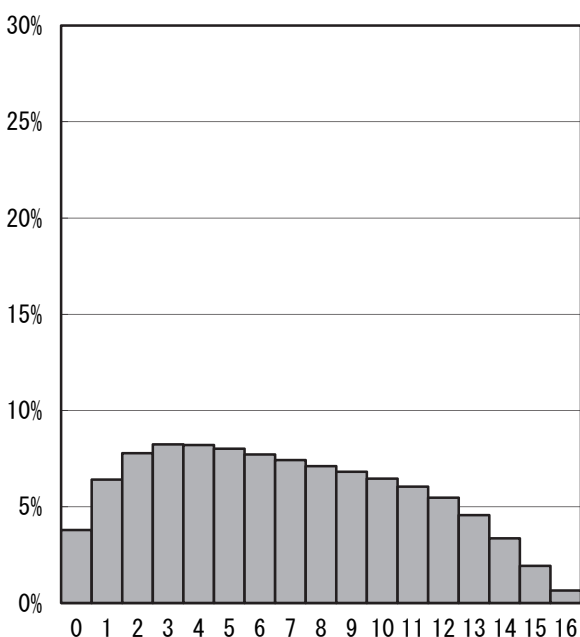
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	11	73.4
	図形	12	65.2
	関数	9	59.3
	資料の活用	4	47.4
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な技能	17	68.6
	数量や図形などについての知識・理解	19	60.4
問題形式	選択式	18	62.3
	短答式	18	66.2
	記述式	0	

【中学校数学B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,070,792人	6.8問/16問	42.4%	6.0問	4.1	3問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	5	42.8
	図形	2	45.3
	関数	6	40.9
	資料の活用	3	42.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	12	35.6
	数学的な技能	2	54.0
	数量や図形などについての知識・理解	2	71.4
問題形式	選択式	4	44.0
	短答式	5	56.8
	記述式	7	31.3

【中学校数学A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1(1)	$5/8 \times 3/4$ を計算する	分数の乗法の計算ができる	小6(1)イ							○		○		83.7	2.2
1(2)	$5 \times (4-7)$ を計算する	() を含む正の数と負の数の計算ができる	1(1)ウ							○		○		87.9	1.1
1(3)	四則計算のうち、整数の範囲で閉じていない計算を選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1(1)ア								○	○		76.2	0.4
1(4)	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	1(1)ア,エ								○		○	65.6	5.1
2(1)	$2(5x+9y)-5(2x+3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1)ア							○		○		82.1	2.2
2(2)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a+b)$ が表す量を選ぶ	与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる	1(2)エ							○		○		67.9	0.4
2(3)	a mの重さが b gの針金の 1 mの重さを、 a 、 b を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる	2(1)イ							○		○		33.7	17.8
2(4)	等式 $2x+3y=9$ を y について解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	等式のある文字について解く際に用いられている等式の性質を理解している	2(1)ウ								○	○		74.6	0.8
3(1)	$3x+7=9$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1(3)ウ							○		○		74.4	6.1
3(2)	$2x+y=6$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	2(2)ア								○	○		78.2	1.2
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる	2(2)ウ							○		○		83.1	8.9
4(1)	長方形の2倍の拡大図をかく	与えられた図形の拡大図をかくことができる	小6(1)ア									○		88.6	1.7
4(2)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図の方法を、図形の対称性に着目して見直すことができる	1(1)ア								○	○		49.6	1.0
4(3)	$\triangle ABC$ を、点Cを回転の中心として時計回りに回転移動して $\triangle DEC$ にぴったり重ねたとき、回転角の大きさを求める	回転移動の意味を理解している	1(1)イ								○	○		57.1	3.4
5(1)	立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ	空間における2直線の位置関係を理解している	1(2)ア								○	○		57.5	1.1
5(2)	与えられた見取図から、その立体の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	1(2)イ							○		○		85.2	0.6
5(3)	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している	1(2)ウ								○	○		47.5	0.8
6(1)	平行線の間の三角形について、その内角 x 、 y の和の値を選ぶ	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している	2(1)ア								○	○		79.3	1.0
6(2)	五角形のある頂点における外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解している	2(1)イ								○	○		55.9	5.8
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア								○	○		79.7	0.7
7(2)	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる	2(2)イ,ウ								○	○		69.3	13.7
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	平行四辺形になるための条件を理解している	2(2)ウ								○	○		48.3	1.1
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	2(2)イ,ウ								○	○		64.7	1.0
9	y が x の関数である事象を選ぶ	関数の意味を理解している	1(1)ア								○	○		13.8	1.5
10(1)	座標平面上の点の座標を求める	座標平面上にある点の位置を、2つの数の組で表すことができる	1(1)ウ							○		○		79.4	4.2
10(2)	比例定数が3である比例の式を選ぶ	比例定数が a である比例の式は $y=ax$ で表されることを理解している	1(1)エ								○	○		65.4	1.3
10(3)	比例の表からグラフを選ぶ	比例の表とグラフの関係を理解している	1(1)エ								○	○		53.3	1.5
10(4)	反比例 $y=6/x$ のグラフを完成する	反比例の式から、グラフをかくことができる	1(1)エ							○		○		71.5	6.6
11(1)	一次関数 $y=2x-1$ について、 x の値が3のときの y の値を求める	一次関数の式について、 x の値に対応する y の値を求めることができる	2(1)イ								○	○		82.5	8.2
11(2)	一次関数の表から変化の割合を求める	一次関数の表から、変化の割合を求めることができる	2(1)イ								○	○		43.3	23.0
12	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象から、 x と y の関係を $y=ax+b$ の式で表すことができる	2(1)ア								○	○		55.1	17.8
13	二元一次方程式 $y=3$ のグラフを選ぶ	二元一次方程式のグラフの特徴を理解している	2(1)ウ								○	○		69.5	1.6
14(1)	生徒35人がハンドボール投げを行い、記録の平均値が21mだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	平均値の意味を理解している	1(1)ア								○	○		78.0	1.8
14(2)	6月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める	ヒストグラムから相対度数を求めることができる	1(1)ア								○	○		23.7	24.5
15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	確率の意味を理解している	2(1)ア								○	○		33.4	2.6
15(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める	簡単な場合について確率を求めることができる	2(1)ア								○	○		54.7	12.6

【中学校数学B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	15歳の優子さんの安静時心拍数が80のときの目標心拍数を求める	与えられた情報を言葉で表された式に基づいて処理することができる			2 (1) イ, エ				○			○		54.7	6.9
1 (2)	45歳の優子さんのお父さんとお母さんの安静時心拍数の差が10のときの、二人の目標心拍数の差を求める	言葉で表された式の数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈することができる			2 (1) イ, エ			○				○		32.9	21.6
1 (3)	安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる			2 (1) イ, エ			○				○		24.7	4.4
2 (1)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明することができる	2 (1) イ, ウ					○				○		38.4	22.5
2 (2)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	2 (1) イ, ウ					○				○		39.3	34.0
3 (1)	水を熱し始めてから10分間で上がった温度を求める	与えられた表から情報を適切に選択し、処理することができる			2 (1) イ, エ				○			○		73.1	4.3
3 (2)	与えられた表やグラフを用いて、水温が80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2 (1) イ, エ			○				○		32.6	33.3
3 (3)	水を熱した時間と水温と同じように考えて求められる事象を選ぶ	事象を理想化・単純化して、事柄を数学的に捉え、他の事象との関係を考えることができる			2 (1) イ, エ			○				○		27.5	1.9
4 (1)	2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	方針に基づいて証明することができる		2 (2) ア, イ				○				○		33.1	22.7
4 (2)	2つの辺の長さが等しいことを証明する際に、根拠として用いる平行四辺形になるための条件を選ぶ	証明の方針を立てることができる		2 (2) ア, イ				○				○		57.6	1.9
5 (1)	横の長さが与えられた長方形が含まれる階級を書く	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる			1 (1) イ				○			○		69.7	11.7
5 (2)	まとめ直したヒストグラムの特徴を基に、学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する	資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明することができる			1 (1) イ			○				○		25.5	42.1
5 (3)	図2のヒストグラムで最も度数の大きい階級に含まれることになるものを選ぶ	事象を数学的に解釈することができる			1 (1) イ			○				○		33.4	2.1
6 (1)	1辺に5個ずつ基石を並べて正三角形の形をつくったときの、基石全部の個数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	1 (2) ア					○				○		53.4	6.9
6 (2)	基石全部の個数を求める式 $3(n-1)$ に対応する囲み方を選ぶ	数学的な結果を事象に即して解釈することができる	1 (2) ア					○				○		57.5	2.1
6 (3)	基石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	1 (2) ア					○				○		25.3	42.2

B問題① 事象の数学的な解釈と判断(ウォーキング)

1 優子さんは、運動不足のお父さんにウォーキングを勧めようと考えています。そこでウォーキングについて調べたことを、次のようにまとめました。

ウォーキングで運動不足を解消！
目標心拍数を決めて、よい歩き方をしましょう！
<歩き方のポイント>

<歩くペースの決め方>

① ウォーキングを行う際の目標心拍数を、次の式で決めます。

$$\left(\begin{array}{c} \text{目標} \\ \text{心拍数} \end{array} \right) = 88 - 0.4 \times (\text{年齢}) + 0.6 \times \left(\begin{array}{c} \text{安静時} \\ \text{心拍数} \end{array} \right)$$

「安静時心拍数」は、安静にした状態で、手首の脈拍数を1分間数えて求めます。

② ウォーキング中に安全なところで立ち止まり、1分間の脈拍数を数えます。運動中の脈拍数が「目標心拍数」を超えないようにすることがポイントです。



【注意】 目標心拍数はあくまでも目安です。実際に運動を行う場合は、その日の体調や気分にも十分注意してください。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 優子さんは、まず自分の目標心拍数を計算してみることにしました。優子さんは15歳です。安静時心拍数を求めたら80でした。優子さんの目標心拍数を求めなさい。

(2) 優子さんのお父さんとお母さんは、二人とも45歳です。ある日の二人の安静時心拍数を求めたら、その差は10でした。このとき、二人の目標心拍数の差を求めなさい。

(3) 優子さんは、年齢が高くなると目標心拍数がどう変わるかを調べたいと思い、安静時心拍数が年齢によらず一定であるとして考えてみました。

このように考えると、目標心拍数は年齢とともに変わることになります。この変わり方について、下のア、イの中から正しいものを1つ選びなさい。また、それが正しいことの原因を、前ページの目標心拍数を求める式をもとに説明しなさい。

ア 年齢が高くなると、目標心拍数は大きくなる。

イ 年齢が高くなると、目標心拍数は小さくなる。

問題の概要(正答率)

(3) 安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する(24.7%)

正答

(3) イ

説明(例) 安静時心拍数が年齢によらず一定なので、年齢を x 、目標心拍数を y としたとき、 y は x の一次関数であり、 x の係数が負であるから、年齢が高くなると目標心拍数はいつも小さくなる。

○過去の調査との同一問題の正答率の比較

- 小学校調査においては、過去の調査との同一問題 11 問（国語 7，算数 4）のうち、過去の正答率と比べて 4 問は今回の方が高く、6 問は大きな差がなく、1 問は低くなっている。
- 中学校調査においては、過去の調査との同一問題 7 問（国語 4，数学 3）のうち、過去の正答率と比べて 3 問は今回の方が高く、4 問は大きな差がなくなっている。

	過去の調査と比べて 3 ポイント以上高い問題 の数	過去の正答率の前後 3 ポイント未満の範囲に ある問題の数	過去の調査と比べて 3 ポイント以上低い問題 の数	合計
小学校調査	4 問	6 問	1 問	11 問
中学校調査	3 問	4 問	0 問	7 問

※ 過去の調査とは、昭和 31～41 年度の全国学力調査、昭和 56～58、平成 5～7、13、15 年度の教育課程実施状況調査、平成 16 年度の特定の課題に関する調査、平成 19～22、24 年度の全国学力・学習状況調査及び TIMSS（国際数学・理科教育動向調査）を指す。複数回にわたり実施されている場合は、実施年度、対象学年、実施時期が本調査に最も近いものと比較している。
なお、各調査の対象学年や実施時期、問題の全体構成等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

○過去の調査問題と同一問題の正答率

（小学校国語）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
漢字を読む（券）	98.9%	97.6%（平成 13 年度・小 5）
〃（子孫）	79.4%	74.0%（平成 16 年度・小 5） 42.8%（平成 16 年度・小 4）
〃（採集）	65.0%	80.1%（平成 21 年度・小 6） 71.1%（平成 16 年度・小 5）
漢字を書く（焼く）	72.6%	70.9%（平成 19 年度・小 6） 33.8%（昭和 39 年度・小 6） 62.6%（平成 16 年度・小 5）
〃（停車）	47.1%	34.9%（昭和 39 年度・小 6）
〃（設ける）	53.7%	34.3%（平成 16 年度・小 6）
接続語を使って 1 文を 2 文に分けて書く	23.6%	15.0%（平成 21 年度・小 6）

（小学校算数）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
243－65 を計算する	88.3%	87.0%（平成 22 年度・小 6）
9.3×0.8 を計算する	83.8%	84.8%（平成 19 年度・小 6） 79.3%（平成 15 年度・小 5） 78.7%（平成 13 年度・小 5）
6÷5 を計算する	88.4%	86.2%（平成 22 年度・小 6）
$\frac{2}{9} \times 4$ を計算する	89.6%	91.6%（平成 16 年度・小 6）

（中学校国語）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
漢字を書く（希望）	87.7%	86.1%（平成 16 年度・中 3）
漢字を読む（異論）	93.4%	78.7%（平成 13 年度・中 1）
適切な語句を選択する（友達に将来の抱負を話す）	63.0%	53.3%（平成 13 年度・中 2）
適切な語句を選択する（直前になって、二の足を踏む）	85.1%	83.8%（平成 13 年度・中 3）

（中学校数学）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a+b)$ が表す量を選ぶ	67.9%	63.9%（平成 19 年度・中 3）
平行線の間の三角形について、内角 x 、 y の和の値を選ぶ	79.3%	77.9%（TIMSS2007・中 2）
一次関数の事象を式で表す	55.1%	56.4%（平成 21 年度・中 3）

※各調査の対象学年や実施時期、問題の全体構成等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

3. 質問紙調査

学習に対する関心・意欲・態度

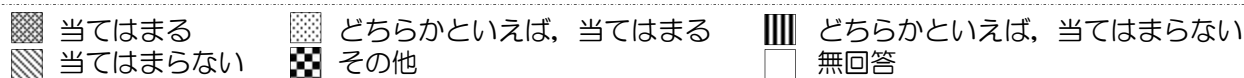
《国語》

【小学校】

- 国語の勉強は好きと回答している児童の割合は、24年度と比べ低くなっている。
- 国語の授業の内容はよく分かると回答している児童の割合は、24年度と比べやや低くなっている。
- 以下と回答している児童の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。
 - ・国語の勉強は大切だと思う
 - ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

【中学校】

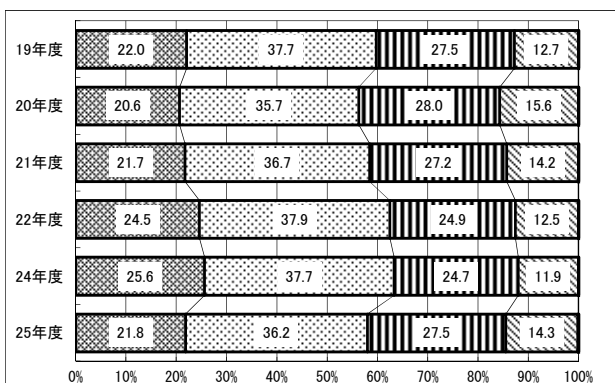
- 国語の授業の内容はよく分かると回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。
- 以下と回答している生徒の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。
 - ・国語の勉強は好き
 - ・国語の勉強は大切だと思う
 - ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う



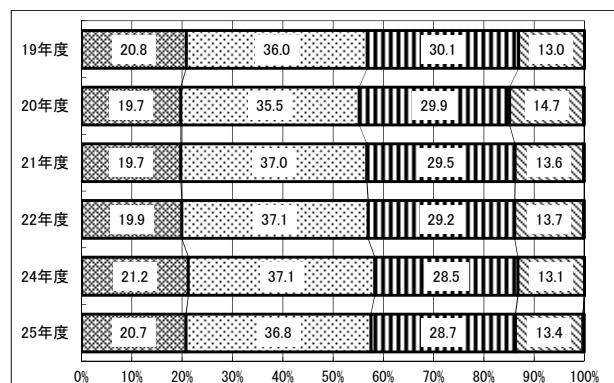
<児童生徒質問紙>

○国語の勉強は好きですか

【小学校】



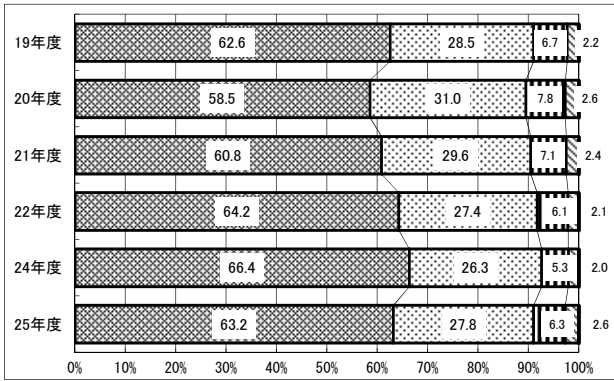
【中学校】



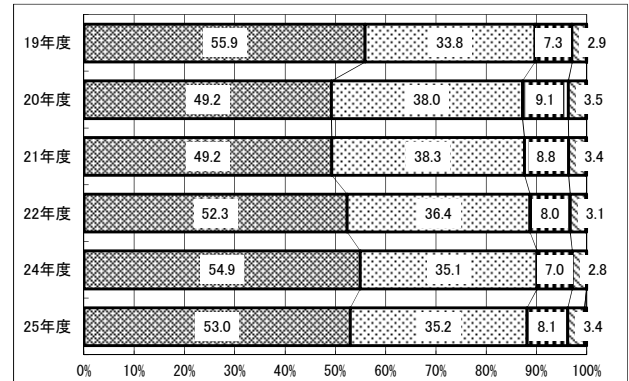
<児童生徒質問紙>

○国語の勉強は大切だと思いますか

【小学校】



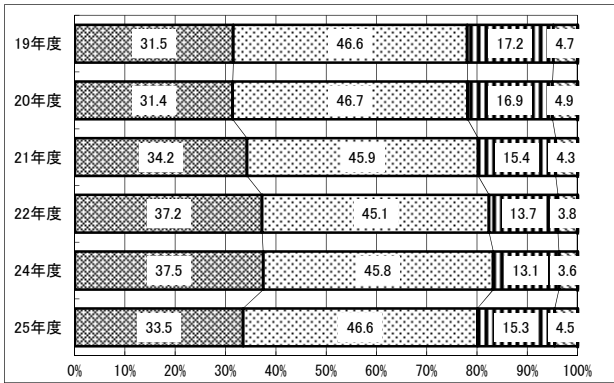
【中学校】



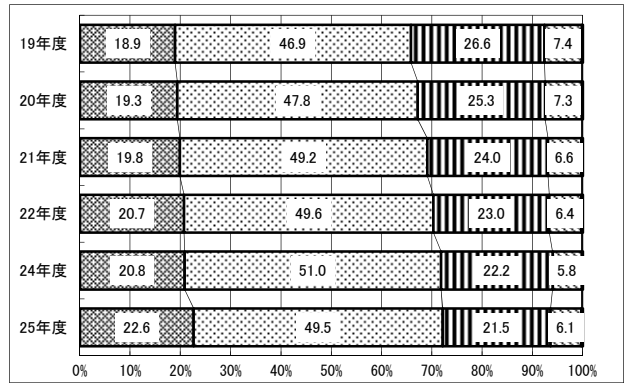
<児童生徒質問紙>

○国語の授業の内容はよくわかりますか

【小学校】



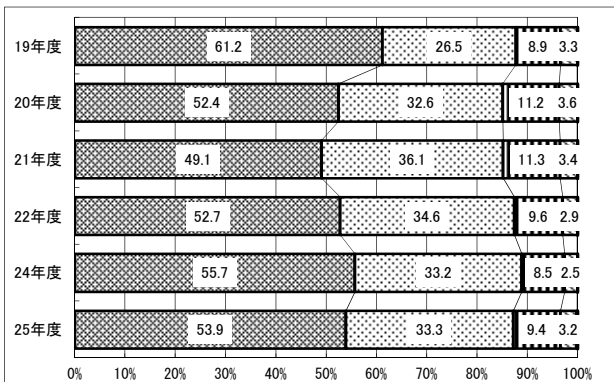
【中学校】



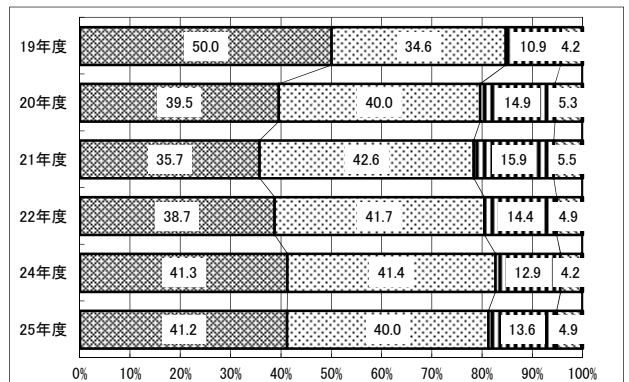
<児童生徒質問紙>

○国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【小学校】



【中学校】



(無解答の理由)

【小学校】

○国語Bの2三の記述式の問題について無解答だった児童が解答しなかった理由

- ・解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった 約79%
- ・解答を文章で書く問題だったので、解答しようと思わなかった 約7%
- ・他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった 約13%

○問題が難しくて解答できなかったと回答している児童のうち、何を取り上げて書いたらよいか分からなかったと回答している児童が約42%、問題文の意味が分からなかったと回答している児童が約31%。

【中学校】

○国語Bの3三の記述式の問題について無解答だった生徒が解答しなかった理由

- ・解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった 約53%
- ・解答を文章で書く問題だったので、解答しようと思わなかった 約27%
- ・他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった 約19%

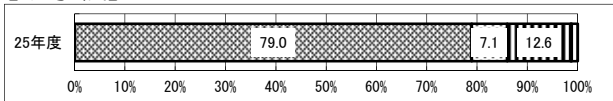
○問題が難しくて解答できなかったと回答している生徒のうち、二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴は分かったが、注意点やコツについての考えがまとまらなかったと回答している生徒が約34%、問題文の意味が分からなかったと回答している生徒が約33%。

- 解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった
- 解答を文章で書く問題だったので、解答しようと思わなかった
- 他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった
- その他
- 無回答

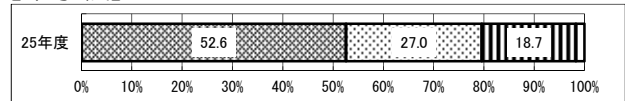
<児童生徒質問紙>

○(小)国語Bの2三・(中)国語Bの3三の問題について解答しなかった理由は何ですか(新規)

【小学校】



【中学校】



(母数:無解答の児童生徒)

【小学校】

- 問題文の意味が分からなかったため、何も書かなかった
- 何を取り上げて書いたらよいか分からなかったため、何も書かなかった
- 何を取り上げて書いたらよいかは分かったが、考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
- 考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった
- その他
- 無回答

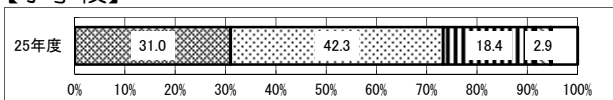
【中学校】

- 問題文の意味が分からなかったため、何も書かなかった
- 二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴が分からなかったため、何も書かなかった
- 二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴は分かったが、注意点やコツについての考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
- 考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった
- その他
- 無回答

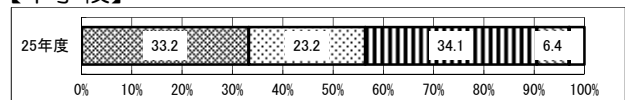
<児童生徒質問紙>

○(小)国語Bの2三・(中)国語Bの3三の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか(新規)

【小学校】



【中学校】



(母数:解答しようとしたが、難しくて解答できなかったと回答した児童生徒)

2 今村さんの学級では、グループごとに日本の伝統と文化について調べ、リーフレットにまとめています。今村さんたちのグループでは、「打ち上げ花火の伝統」について分担して調べ、次の「下書きの一部」を書きました。そして、グループで「編集会議」を開いたときに書かれた意見をもとに書き直しています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。


※リーフレットとは、「一枚の紙を折りたたんだものなどに、文章と絵や写真、図表、グラフなどを貼って伝えた内容を書き分けてやすく説明したものです。

【リーフレットの表紙】

打ち上げ花火の伝統

打ち上げ花火は、いつから人々の目を楽しませてきたのでしょうか。また、花火師たちはどのような種類の打ち上げ花火を作り出してきたのでしょうか。

そして、打ち上げ花火の伝統を守るために花火師たちはどのような苦勞をしているのでしょうか。



6年1組 ・今村 ・西村
・町田 ・山下

【編集会議での町田さんと山下さんの意見】

町田さん 「4 まとめ」には、題名「打ち上げ花火の伝統」に合う内容を書いたほうがいいと思うわ。書き出しの文（「打ち上げ花火は、…伝統といえます。」）は、「歴史」に注目し、「1 打ち上げ花火の歴史」の内容をまとめてあるわね。

山下さん それに続く内容は、「現在」の打ち上げ花火に注目し、「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の中に書かれている。現在における打ち上げ花火の形や色、打ち上げるときにふうを取り上げて書いたほうがいいね。そして、最後に考えたことをまとめて書いてらうかな。

打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

80字

100字

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きます。※の印から書きます。どちらで行を変えないで、続けて書きます。

- 「編集会議での町田さんと山下さんの意見」を受け、「下書きの一部」の「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の両方から内容をとり上げて書くこと。
- 取り上げた内容について、あなたが考えたことを具体的に書くこと。
- 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内でまとめて書くこと。なお、書き出しの文は、字数にはくみません。

三 今村さんたちは、「4 まとめ」の意見を受け、書き出しの文に続く内容を考えました。あとの条件に合わせて書きましょう。

三 「新聞記事」を読んだり「資料」をまとめた小川さんは、間違えやすい漢字を取り上げ、学習する際の注意点をコップを中学一年生に説明することにしました。あなたならどのように説明しますか。「間違えやすい漢字の例」を次のA、Bから一つ選び（どちらを選んでもかまいません）、それを学習する際の注意点をコップをまとめた条件1から条件3にしががって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間を書き加えたりしてもかまいません。

（間違えやすい漢字の例）

A
拾・捨

B
厚・熱

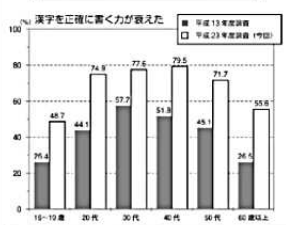
- 条件1 選んだ「間違えやすい漢字の例」について、二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴を取り上げて書くこと。
- 条件2 条件1に応じて、二つの漢字を学習する際の注意点をコップを具体的に書くこと。
- 条件3 七十字以上、百十字以内で書くこと。

3 次は、中学三年生の小川さんが興味をもった「新聞記事」と、それに関連して探した情報を小川さんがまとめた「資料」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

漢字、正確に書けますか？

文化庁 国語に関する世論調査

「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5%に上り、平成13年度調査時より25・2%増えたことが20日、文化庁の「平成23年度国語に関する世論調査」で分かった。



年代	平成13年度調査時	平成23年度調査時
15-19歳	26.4	48.7
20代	44.1	74.9
30代	57.7	77.6
40代	51.8	79.5
50代	45.1	71.7
60歳以上	26.4	55.8

調査では、携帯電話や電子メールなどの普及により「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5%に上り、平成13年度調査時より25・2%増えたことが20日、文化庁の「平成23年度国語に関する世論調査」で分かった。

調査では、携帯電話や電子メールなどの普及による情報交換手段の多様化が、日常生活に影響を与えている例として思い当たることを複数選択で質問。その結果「漢字を正確に書く力が衰えた」と回答した人が大幅に増えた。年齢別に見ると、20代、50代で7割台となっており、平成13年度には2割台だった16歳以上60歳以上でも、それぞれ、5割台と5割台半ばとなっている。また、全ての年代で平成13年度調査の結果よりも今回の調査結果の割合の方が高くなっており、最も差の小さい30代で19・9%、最も差の大きい20代では、30・8%の差となっている。

このほか「手紙やはがきは余り利用しないようになった」が15・6%増、「手で字を書くことが面倒くさく感じるようになった」が10・1%増の42・0%となった。

中学校の国語科教諭（47）は「似た形の文字の使い分けや同じ読み方をする語句の区別などについては、今後も注意して教え、情報機器と上手に付き合えるようにさせたい」と話した。

平成24年9月21日（金）「全国新聞」朝刊より

《算数・数学》

【小学校】

○以下と回答している児童の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。

- ・算数の勉強は好き
- ・算数の勉強は大切だと思う
- ・算数の授業の内容はよく分かる
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

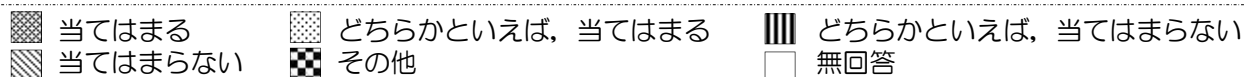
【中学校】

○以下と回答している生徒の割合は、24年度と比べやや高くなっている。

- ・数学の勉強は好き
- ・数学の授業の内容はよく分かる

○以下と回答している生徒の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。

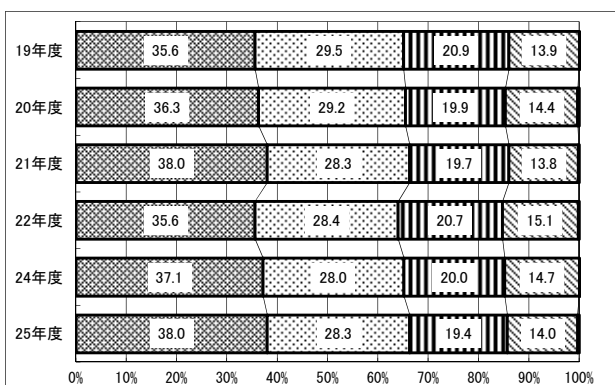
- ・数学の勉強は大切だと思う
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う



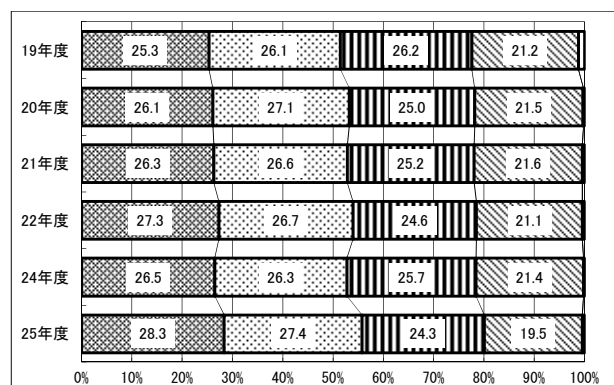
<児童生徒質問紙>

○算数・数学の勉強は好きですか

【小学校】



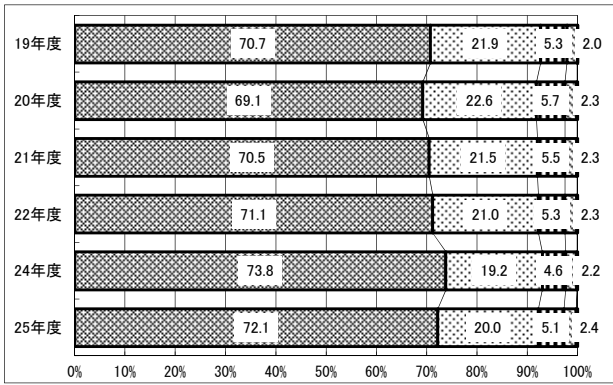
【中学校】



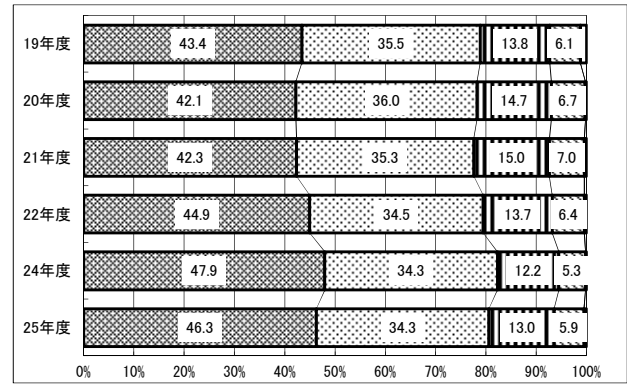
<児童生徒質問紙>

○算数・数学の勉強は大切だと思いますか

【小学校】



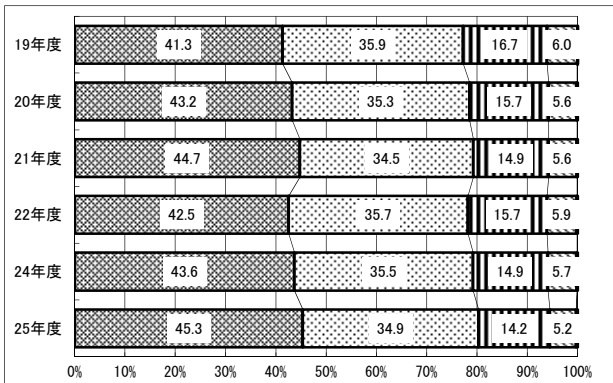
【中学校】



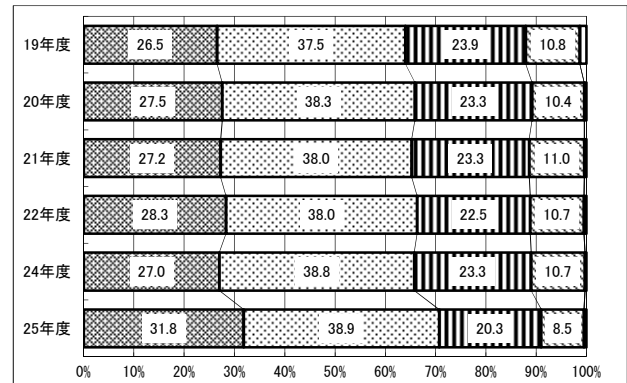
<児童生徒質問紙>

○算数・数学の授業の内容はよくわかりますか

【小学校】



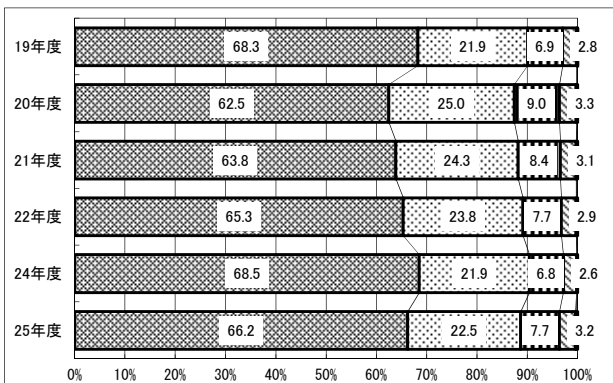
【中学校】



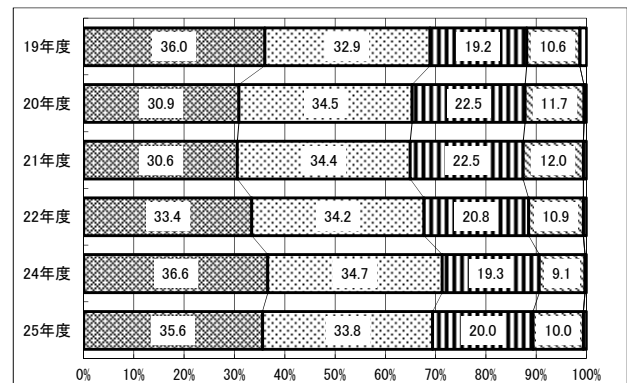
<児童生徒質問紙>

○算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【小学校】



【中学校】



(無解答の理由)

【小学校】

- 算数Bの4(1)の問題について無解答だった児童が解答しなかった理由
 - ・解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった 約73%
 - ・書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった 約11%
 - ・他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった 約14%
- 問題が難しくて解答できなかったと回答している児童のうち、問題文の意味が分からなかったと回答している児童が約39%、約何倍になるかを求める方法が分からなかったと回答している児童が約33%。

【中学校】

- 数学Bの4(1)の問題について無解答だった生徒が解答しなかった理由
 - ・解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった 約66%
 - ・書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった 約25%
 - ・他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった 約7%
- 問題が難しくて解答できなかったと回答している生徒のうち、問題文の意味が分からなかったと回答している生徒が約51%、どの条件を使えばよいか分からなかったと回答している生徒が約26%。

小学校 算数B 4(1)

4

平成23年(2011年)に行われたサッカー女子ワールドカップで、サッカー日本女子代表のなでしこジャパンが優勝しました。

(1) ひろきさんは、ワールドカップ後のなでしこリーグ(日本女子サッカーリーグ)の試合の観客数が増えたのではないかと考えました。

そこで、あるサッカー場で行われた、平成23年のなでしこリーグの試合の観客数を調べ、下の表にまとめました。

	試合数 (試合)	観客数の合計 (人)	1試合あたりの観客数 (人)
ワールドカップ前	2	約 2200	約 1100
ワールドカップ後	3	約 33000	

ワールドカップ後の1試合あたりの観客数は、ワールドカップ前の1試合あたりの観客数の約何倍になっていますか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

サッカー日本女子代表
なでしこジャパンが
ワールドカップで
優勝した際の写真

中学校 数学B 4(1)

4 悠斗さんは、次の問題を考えています。

問題

右の図のように、平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとし、線分OB、OD上に、 $BP = DQ$ となる点P、Qをそれぞれとります。このとき、 $AP = CQ$ となることを証明しなさい。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 悠斗さんは、次のような証明の方針1を考えました。この証明の方針1にもとづいて、 $AP = CQ$ となることを証明することができます。

証明の方針1

- ◇ $AP = CQ$ を証明するためには、 $\triangle ABP \cong \triangle CDQ$ を示せばよい。
- ◇ $\triangle ABP$ と $\triangle CDQ$ の辺や角について、等しいことがわかるものを探せばよい。まず、平行四辺形ABCDの性質から、 $AB = CD$ がわかるし、仮定から、 $BP = DQ$ もわかっている。
- ◇ ◇を使うと、 $\triangle ABP \cong \triangle CDQ$ が示せそうだ。

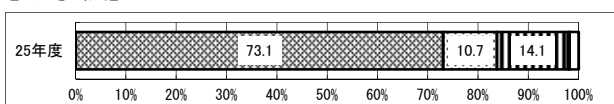
この証明の方針1にもとづいて、 $AP = CQ$ となることを証明しなさい。

- 解答しようとしたが、問題が難しくて解答できなかった
- 書く分量が多い問題だったので、解答しようと思わなかった
- 他の問題に解答していたら、この問題に解答する時間が足りなくなった
- その他 無回答

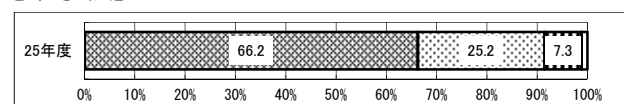
<児童生徒質問紙>

○(小)算数Bの4(1)・(中)数学Bの4(1)の問題について解答しなかった理由は何ですか(新規)

【小学校】








【中学校】








(母数: 無解答の児童生徒)

【小学校】

-  問題文の意味が分からなかったので、何も書かなかった
-  約何倍になるかを求める方法が分からなかったので、何も書かなかった
-  約何倍になるかを求める方法は分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
-  考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった
-  その他
- 無回答

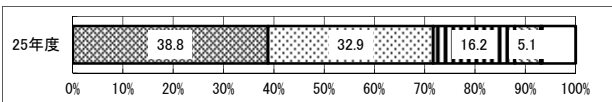
【中学校】

-  問題文の意味が分からなかったため、何も書かなかった
-  AP=CQを証明するために、どの条件を使えばよいか分からなかったため、何も書かなかった
-  AP=CQを証明するために、どの条件を使えばよいかは分かったが、どのように書いたらよいか考えがまとまらなかったため、何も書かなかった
-  考えはまとまったが、解答に自信がなかったため、何も書かなかった
-  その他
- 無回答

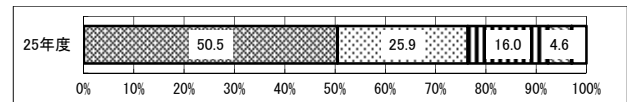
<児童生徒質問紙>

○(小)算数Bの4(1)・(中)数学Bの4(1)の問題に解答しようとしたとき、あなたはどのように考えましたか(新規)

【小学校】



【中学校】



(母数: 解答しようとしたが、難しく解答できなかったと回答した児童生徒)








《全般》

【小学校】

○授業の中で分からないことがあったとき、友達に尋ねることが多いと回答している児童は約32%、先生に尋ねることが多いと回答している児童は約26%、家の人に尋ねることが多いと回答している児童は約24%、自分で調べることが多いと回答している児童は約12%、そのままにしておくことが多くと回答している児童は約5%。

【中学校】

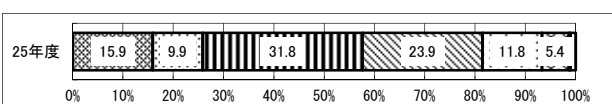
○授業の中で分からないことがあったとき、友達に尋ねることが多いと回答している生徒は約42%、先生に尋ねることが多いと回答している生徒は約25%、自分で調べることが多いと回答している生徒は約16%、そのままにしておくことが多くと回答している生徒は約9%、家の人に尋ねることが多いと回答している生徒は約7%。

-  その場で先生に尋ねる
-  友達に尋ねる
-  自分で調べる
-  その他
-  授業が終わってから先生に尋ねに行く
-  家の人に尋ねる
-  そのままにしておく
- 無回答

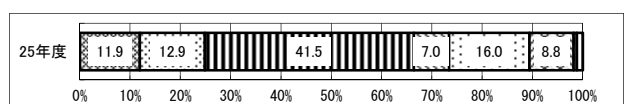
<児童生徒質問紙>

○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか(新規)

【小学校】



【中学校】



学校の指導・取組

【小学校】【中学校】

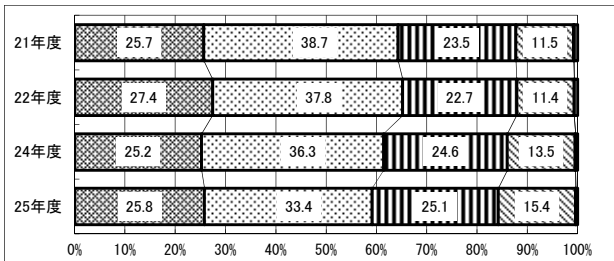
- 授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思うと回答している児童生徒の割合は、24年度と比べやや低くなっている。
- 授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思うと回答している児童生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。
- 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った学校の割合に、調査開始年度以降、小学校・中学校ともに増加傾向がうかがえる。



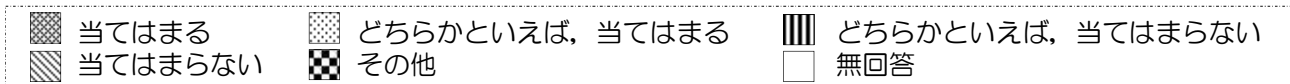
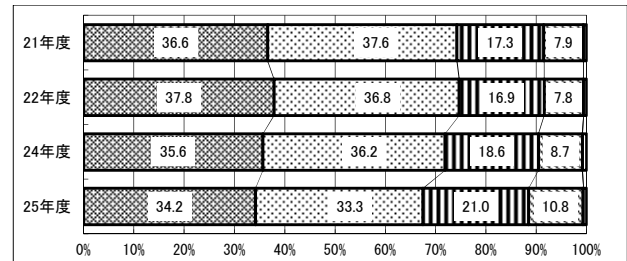
<児童生徒質問紙>

○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

【小学校】



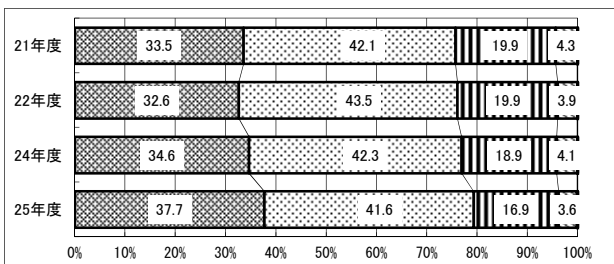
【中学校】



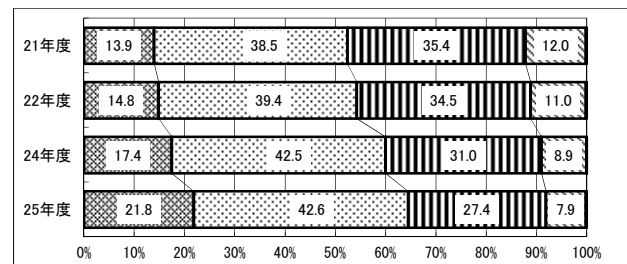
<児童生徒質問紙>

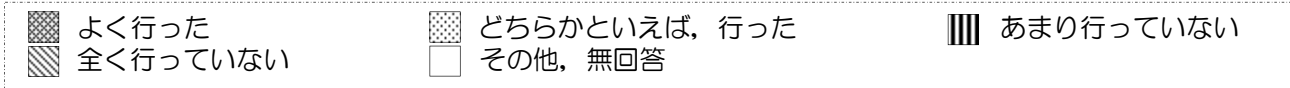
○普段の授業では、学級の友達との間・生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

【小学校】



【中学校】

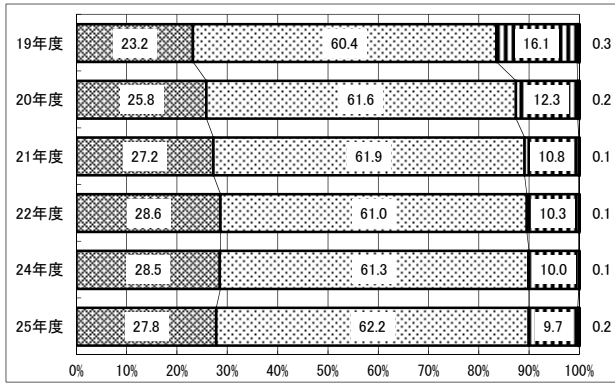




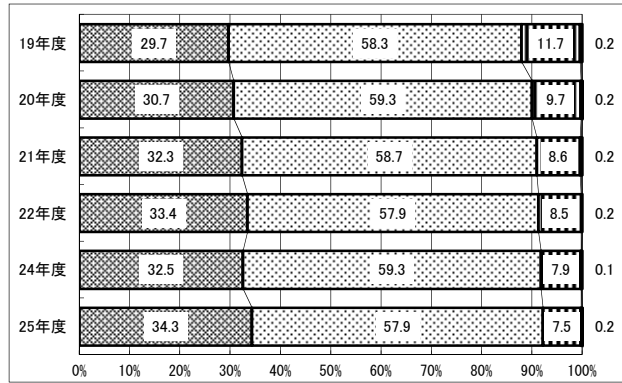
<学校質問紙>

○調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか

【小学校】



【中学校】

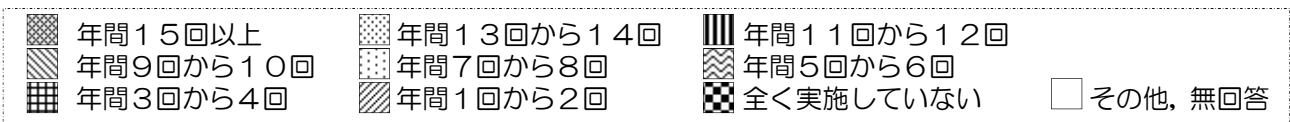


【小学校】

○授業研究を伴う校内研修を前年度、7回以上実施した学校の割合は、24年度と比べやや高くなっている。

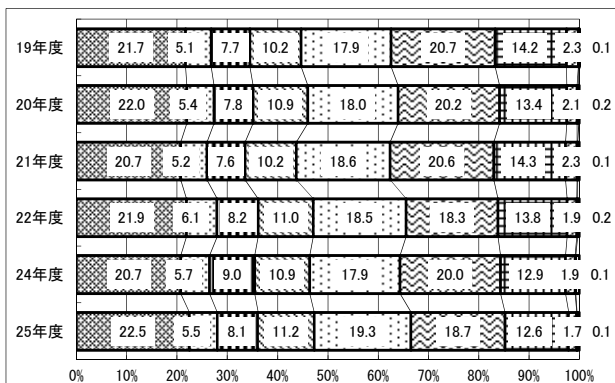
【中学校】

○授業研究を伴う校内研修を前年度、7回以上実施した学校の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。

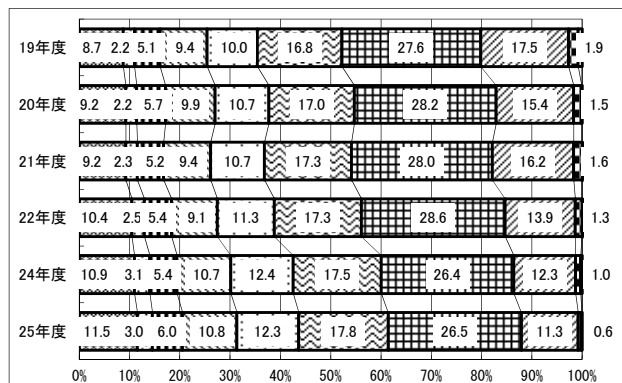


○授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

【小学校】



【中学校】



○授業で、はじめに授業の目標が示されていると思うと回答している児童生徒

・小学校：約 83% ・中学校：約 68%

○授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れた学校

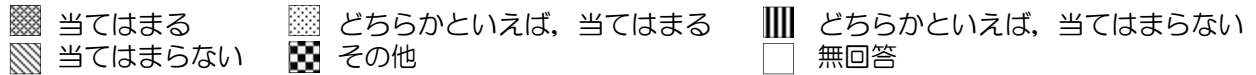
・小学校：約 96% ・中学校：約 92%

○授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思うと回答している児童生徒

・小学校：約 77% ・中学校：約 51%

○授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた学校

・小学校：約 92% ・中学校：約 88%

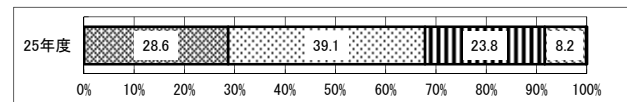
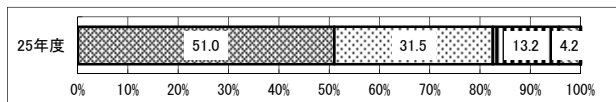


<児童生徒質問紙>

○普段の授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか（新規）

【小学校】

【中学校】

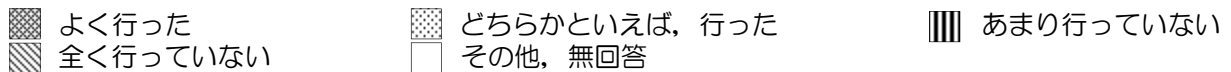
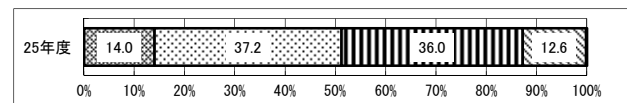
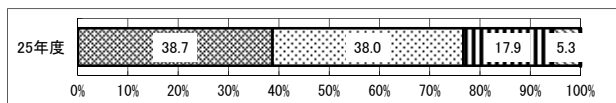


<児童生徒質問紙>

○普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか（新規）

【小学校】

【中学校】

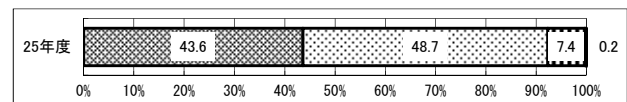
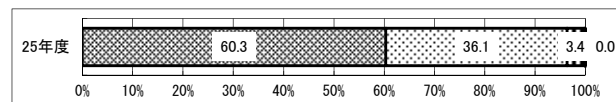


<学校質問紙>

○調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか（新規）

【小学校】

【中学校】

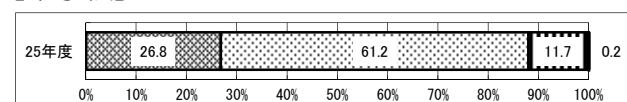
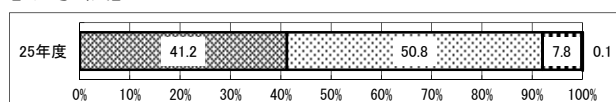


<学校質問紙>

○調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか（新規）

【小学校】

【中学校】



家庭学習

【小学校】

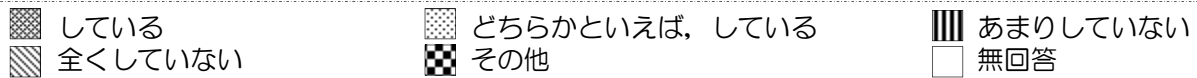
○家で、学校の授業の復習をしていると回答している児童の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をすると回答している児童の割合は、24年度と比べやや高くなっている。

【中学校】

○家で、学校の授業の復習をしていると回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

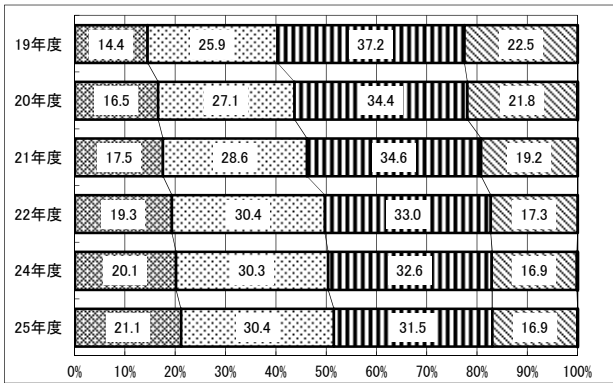
○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をすると回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、若干の増加傾向がうかがえる。



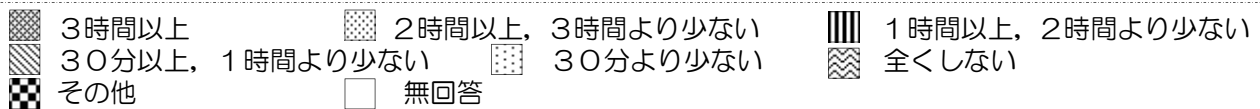
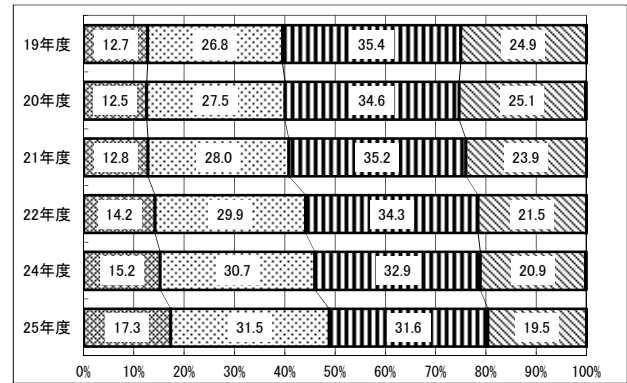
<児童生徒質問紙>

○家で、学校の授業の復習をしていますか

【小学校】



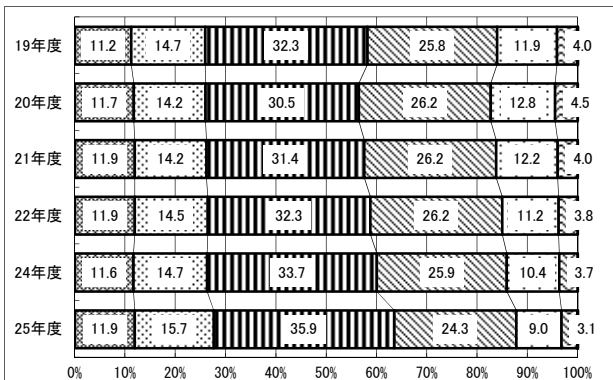
【中学校】



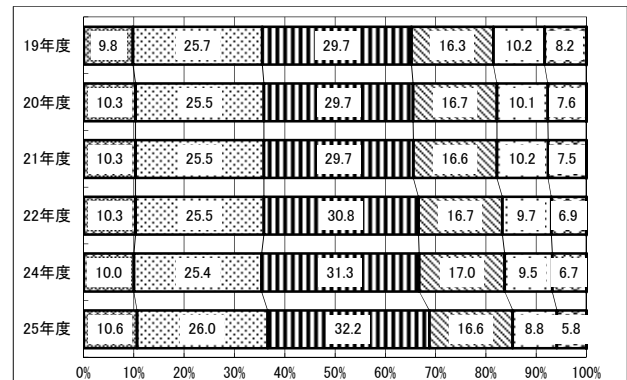
<児童生徒質問紙>

○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

【小学校】



【中学校】



【小学校】【中学校】

- 国語の指導として、家庭学習の課題を与えた学校の割合に、調査開始年度以降、小学校では若干の増加傾向、中学校では増加傾向がうかがえる。
- 算数・数学の指導として、家庭学習の課題を与えた学校の割合に、調査開始年度以降、若干の増加傾向がうかがえる。

よく行った
全く行っていない

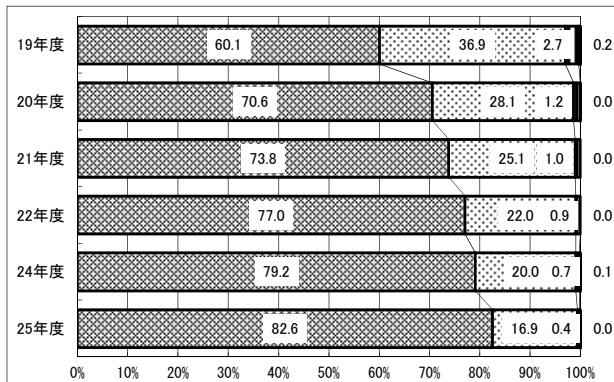
どちらかといえば、行った
その他、無回答

あまり行っていない

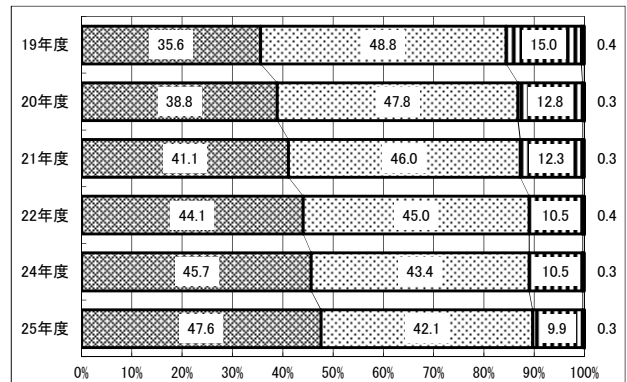
<学校質問紙>

○調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

【小学校】



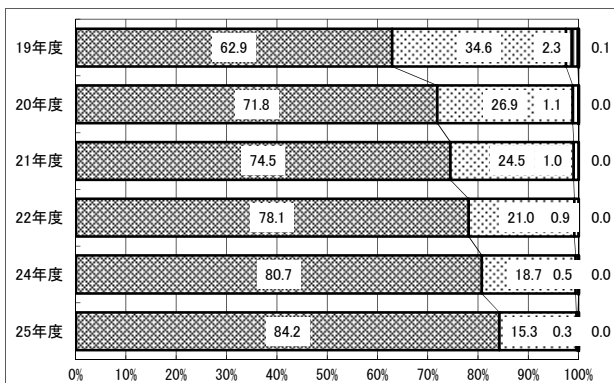
【中学校】



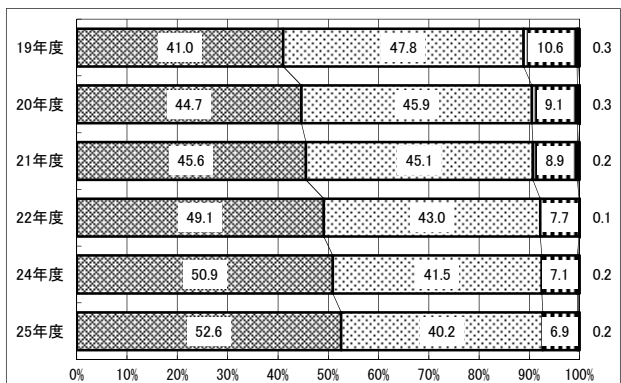
<学校質問紙>

○調査対象学年の児童生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

【小学校】



【中学校】



コミュニケーション能力

○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意と回答している児童生徒

・小学校：約 50% ・中学校：約 48%

○自分の行動や発言に自信を持っていると回答している児童生徒

・小学校：約 56% ・中学校：約 50%

○友達に伝えたいことをうまく伝えることができると回答している児童生徒

・小学校：約 73% ・中学校：約 67%

○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていると回答している児童生徒

・小学校：約 91% ・中学校：約 91%

■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない

■ 当てはまらない

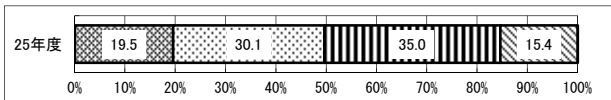
■ その他

□ 無回答

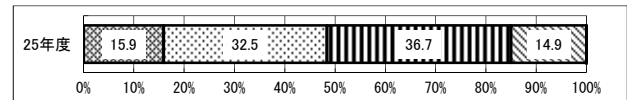
<児童生徒質問紙>

○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか（新規）

【小学校】



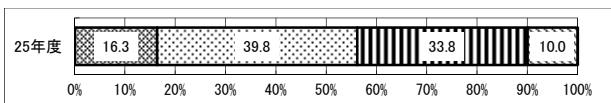
【中学校】



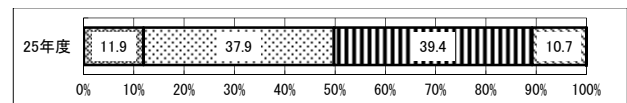
<児童生徒質問紙>

○自分の行動や発言に自信を持っていますか（新規）

【小学校】



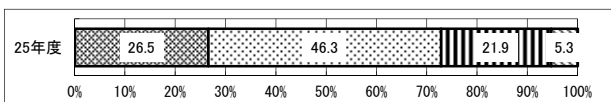
【中学校】



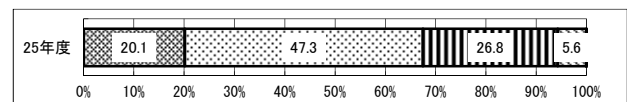
<児童生徒質問紙>

○友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか（新規）

【小学校】



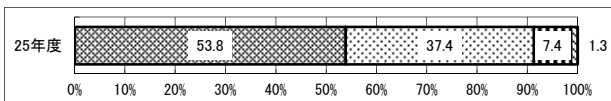
【中学校】



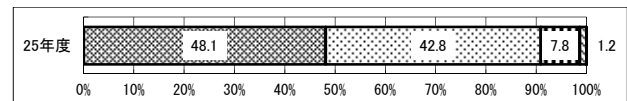
<児童生徒質問紙>

○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか（新規）

【小学校】



【中学校】



グローバル人材の育成

【小学校】【中学校】

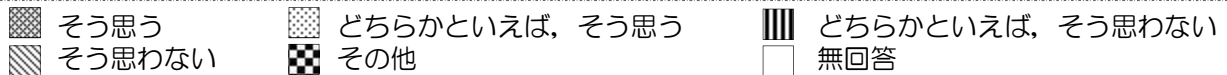
- 英語の学習は好きと回答している児童生徒
 - ・小学校：約 76% ・中学校：約 53%
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思うと回答している児童生徒
 - ・小学校：約 71% ・中学校：約 61%
- 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思うと回答している児童生徒
 - ・小学校：約 39% ・中学校：約 31%

【小学校】

- 児童が学校の授業や英会話教室で英語を学び始めた時期は、小学校に入学する前が約 18%、第 1 学年または第 2 学年が約 24%、第 3 学年または第 4 学年が約 25%、第 5 学年または第 6 学年が約 33%。
- 小学校において、児童に対して、英語に関する指導を始めた学年は、第 1 学年または第 2 学年が約 29%、第 3 学年または第 4 学年が約 13%、第 5 学年が約 58%。

【中学校】

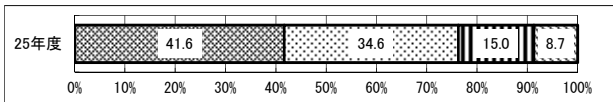
- 生徒が学校の授業や英会話教室で英語を学び始めた時期は、小学校に入学する前が約 11%、第 1 学年または第 2 学年が約 12%、第 3 学年または第 4 学年が約 19%、第 5 学年または第 6 学年が約 38%、中学校第 1 学年以降が約 20%。



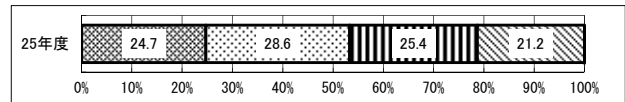
<児童生徒質問紙>

○英語の学習は好きですか（新規）

【小学校】



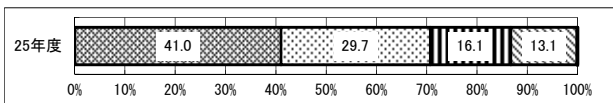
【中学校】



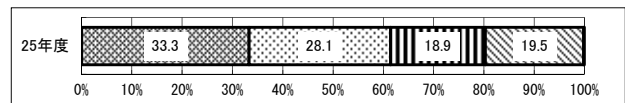
<児童生徒質問紙>

○外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか（新規）

【小学校】



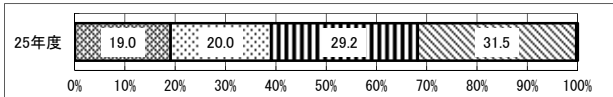
【中学校】



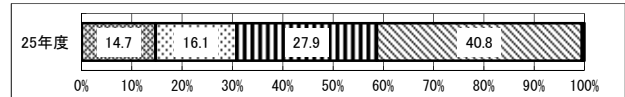
<児童生徒質問紙>

○将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか（新規）




【小学校】






【中学校】










【小学校】

-  小学校に入学する前から
-  小学校3年生または小学校4年生から
-  その他

-  小学校1年生または小学校2年生から
-  小学校5年生または小学校6年生から
-  無回答

【中学校】

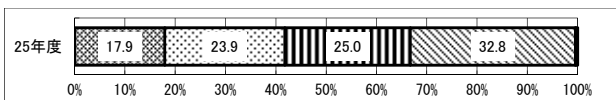
-  小学校に入学する前から
-  小学校3年生または小学校4年生から
-  中学校1年生以降
-  無回答

-  小学校1年生または小学校2年生から
-  小学校5年生または小学校6年生から
-  その他

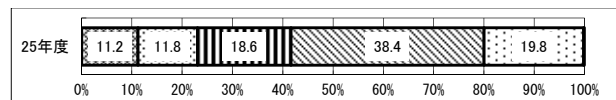
<児童生徒質問紙>





○学校の授業や英会話教室で英語を学び始めたのはいつからですか（新規）

【小学校】



【中学校】

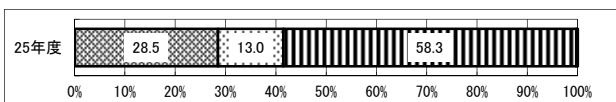


-  小学校1年生または2年生から
-  小学校3年生または4年生から
-  小学校5年生から
-  その他, 無回答

<学校質問紙>

○調査対象学年の児童に対して、いつから英語に関する指導を始めましたか（新規）

【小学校】



社会に対する興味・関心

○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると回答している児童生徒

・小学校：約 58% ・中学校：約 52%

○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答している児童生徒

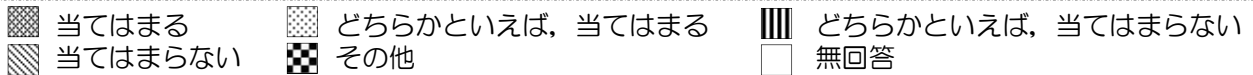
・小学校：約 39% ・中学校：約 27%

○地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると回答している児童生徒

・小学校：約 38% ・中学校：約 45%

○週1回以上新聞を読んでいると回答している児童生徒

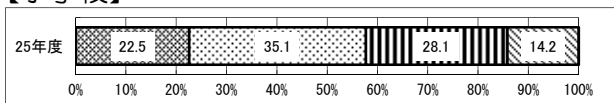
・小学校：約 32% ・中学校：約 26%



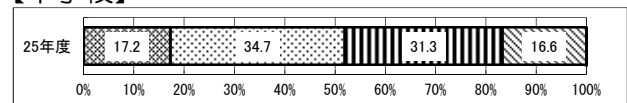
<児童生徒質問紙>

○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（新規）

【小学校】



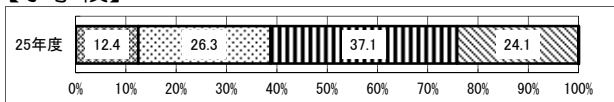
【中学校】



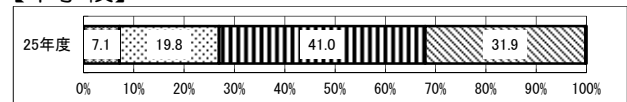
<児童生徒質問紙>

○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（新規）

【小学校】



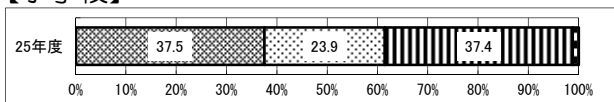
【中学校】



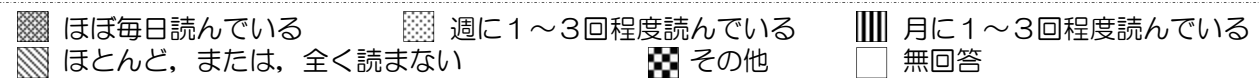
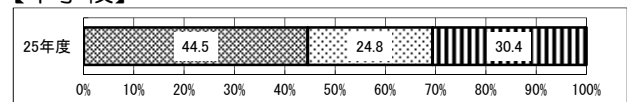
<児童生徒質問紙>

○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（新規）

【小学校】



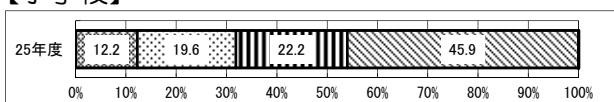
【中学校】



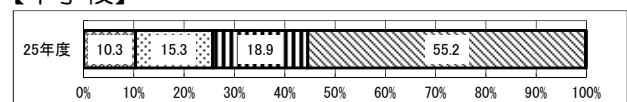
<児童生徒質問紙>

○新聞を読んでいますか（新規）

【小学校】



【中学校】



地域との関わり

【小学校】【中学校】

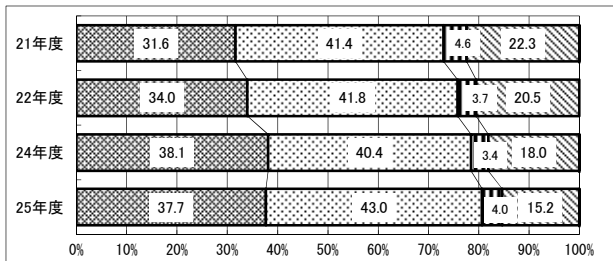
- 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれると回答している学校の割合に、調査開始年度以降、小学校・中学校ともに増加傾向がうかがえる。
- 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があったと回答している学校
 - ・小学校：約95%　・中学校：約87%



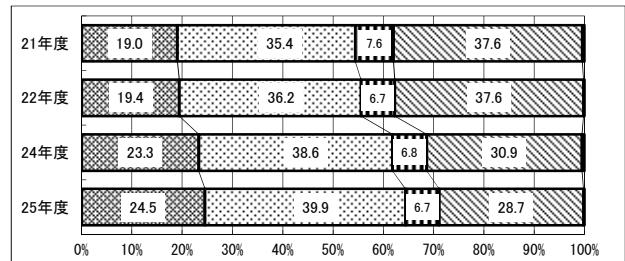
<学校質問紙>

- 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか

【小学校】



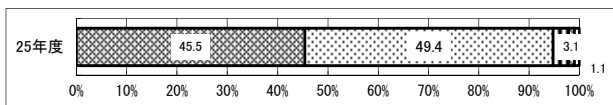
【中学校】



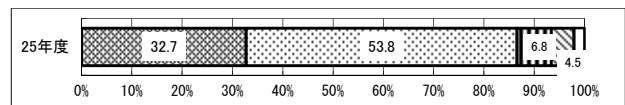
<学校質問紙>

- 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか（新規）

【小学校】



【中学校】

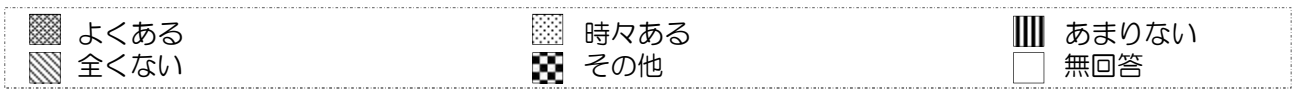


【小学校】

○地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあると回答している児童の割合は、24年度と比べ高くなっている。

【中学校】

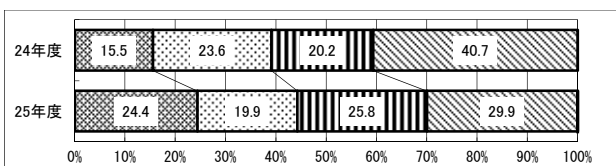
○地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあると回答している生徒の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。



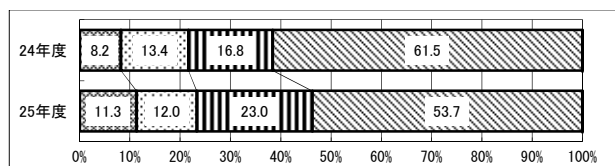
<児童生徒質問紙>

○地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか

【小学校】



【中学校】

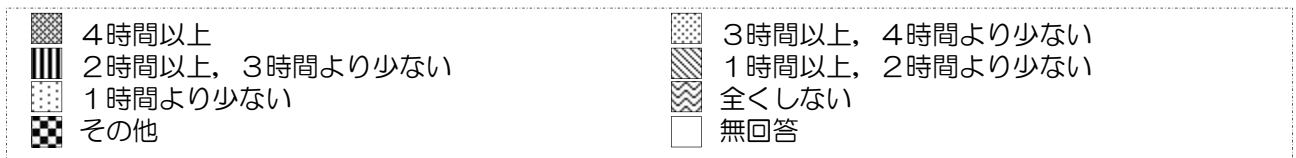


※24年度調査では、「学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがありますか」と質問しており、質問文が異なる。

※24年度調査において、「たまにある」と回答した児童生徒については「時々ある」に、「ほとんどない」と回答した児童生徒については「全くない」に分類して集計している。

生活習慣

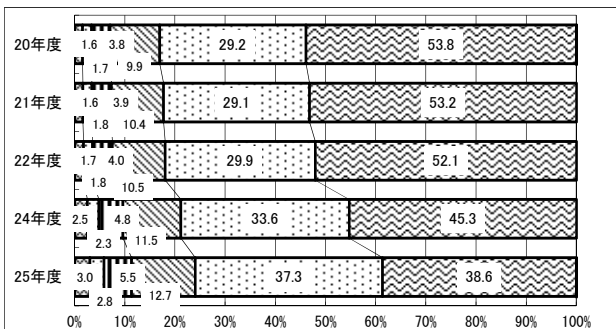
○普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上インターネットをすると回答している児童生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。



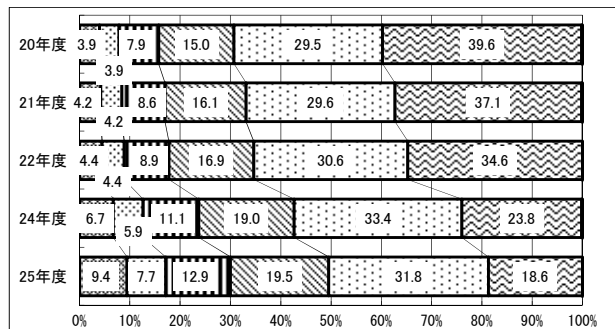
<児童生徒質問紙>

○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、インターネット（携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む）をしますか

【小学校】



【中学校】



土曜日の過ごし方

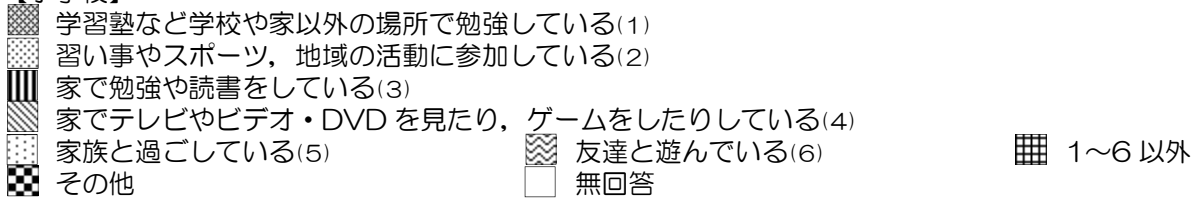
【小学校】

○土曜日の午前は、習い事やスポーツ、地域の活動に参加していると回答している児童が約 27%。家でテレビやビデオ・DVD を見たり、ゲームをしたりしていると回答している児童が約 22%。午後は、習い事やスポーツ、地域の活動に参加していると回答している児童が約 25%、友達と遊んでいると回答している児童が約 23%である。

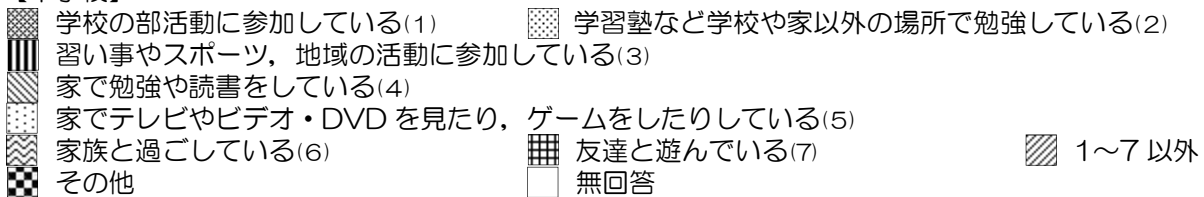
【中学校】

○土曜日の午前は、学校の部活動に参加していると回答している生徒が約 64%、午後は、学校の部活動に参加していると回答している生徒が約 22%、家でテレビやビデオ・DVD を見たり、ゲームをしたりしていると回答している生徒が約 21%である。

【小学校】



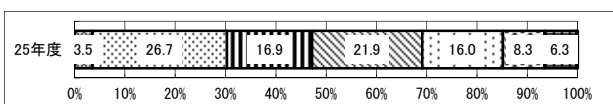
【中学校】



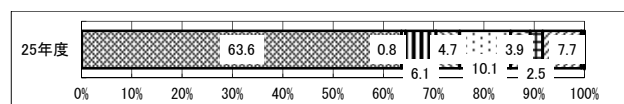
<児童生徒質問紙>

○土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか（新規）

【小学校】



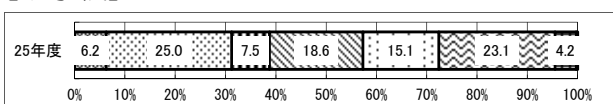
【中学校】



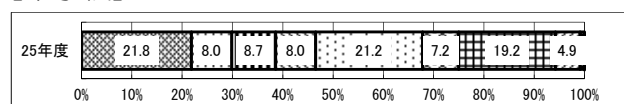
<児童生徒質問紙>

○土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか（新規）

【小学校】

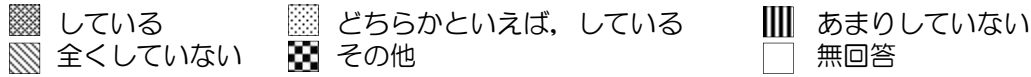


【中学校】



家庭でのコミュニケーション

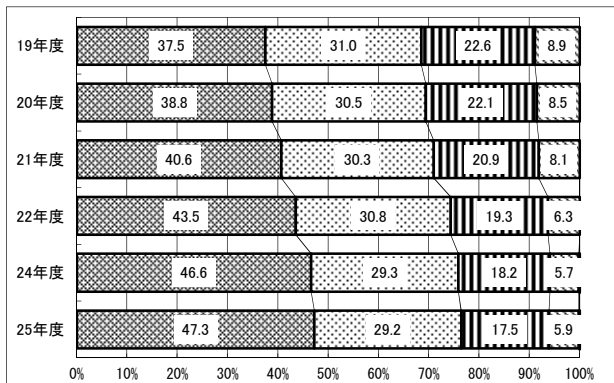
○家の人と学校での出来事について話をすると回答している児童生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。



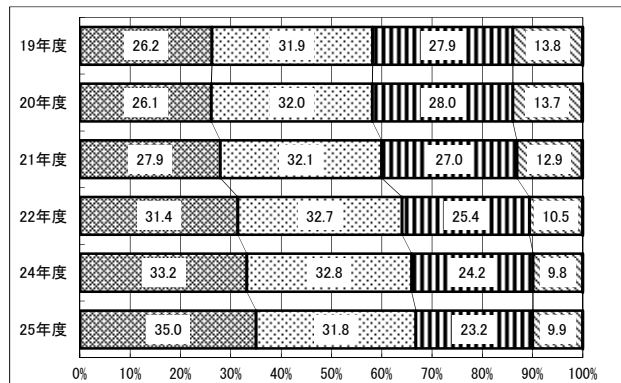
<児童生徒質問紙>

○家の人と学校での出来事について話をしますか

【小学校】



【中学校】



規範意識

【小学校】

○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答している児童の割合は、24年度と比べ大きな変化は見られない。

【中学校】

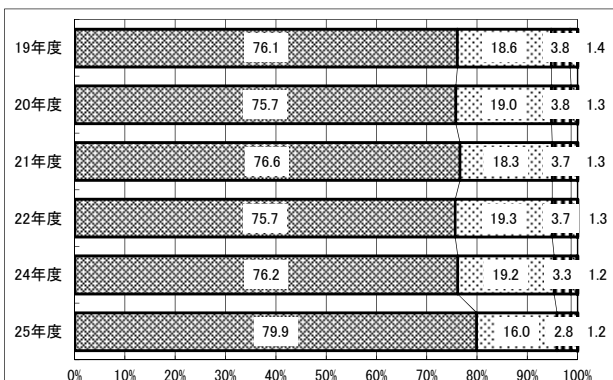
○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。



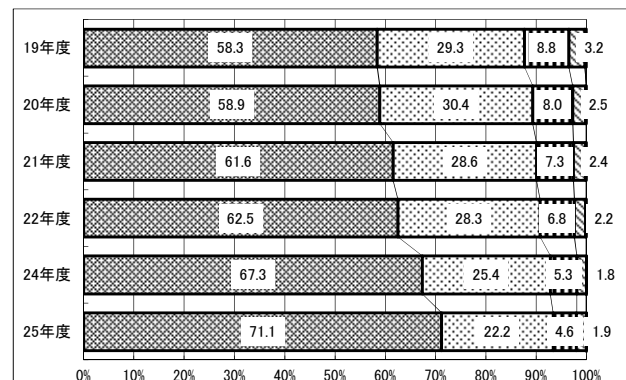
<児童生徒質問紙>

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学校】



【中学校】

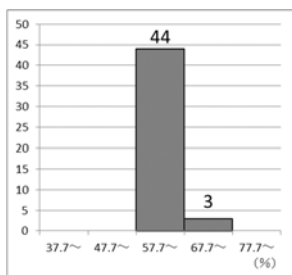


4. 都道府県の状況（公立）

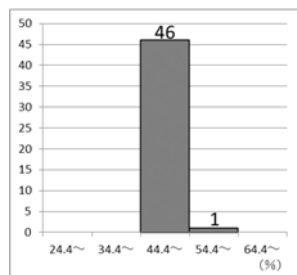
○ 都道府県の状況（公立）については、平均正答率を見ると、24年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、大きな差は見られない。

【小学校調査】 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：都道府県数）

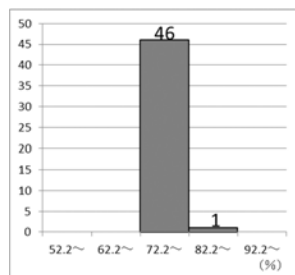
〔国語A〕



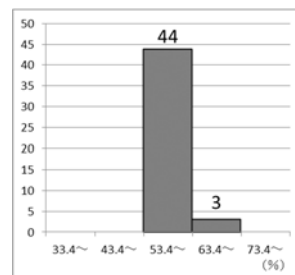
〔国語B〕



〔算数A〕



〔算数B〕

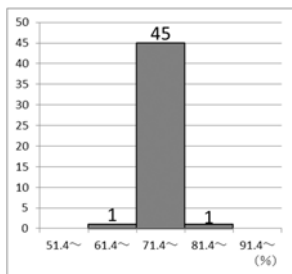


	全国（公立）の平均正答率	47都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	47都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
国語A	62.7%	71.7% 【+9.0%】	57.7% 【-5.0%】
国語B	49.4%	59.1% 【+9.7%】	45.5% 【-3.9%】

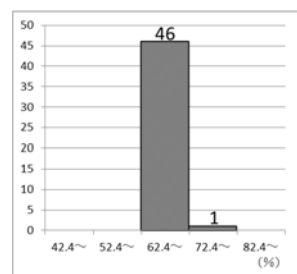
	全国（公立）の平均正答率	47都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	47都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
算数A	77.2%	82.8% 【+5.6%】	73.3% 【-3.9%】
算数B	58.4%	67.1% 【+8.7%】	54.0% 【-4.4%】

【中学校調査】 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：都道府県数）

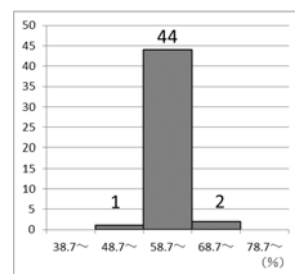
〔国語A〕



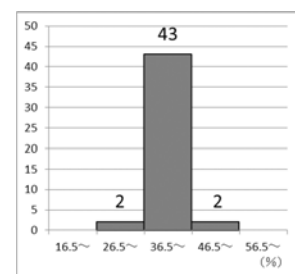
〔国語B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



	全国（公立）の平均正答率	47都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	47都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
国語A	76.4%	81.9% 【+5.5%】	69.2% 【-7.2%】
国語B	67.4%	74.6% 【+7.2%】	62.4% 【-5.0%】

	全国（公立）の平均正答率	47都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	47都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
数学A	63.7%	69.9% 【+6.2%】	53.2% 【-10.5%】
数学B	41.5%	49.2% 【+7.7%】	29.8% 【-11.7%】

○都道府県別・平均正答率一覧

<小学校>

平均正答率(%)

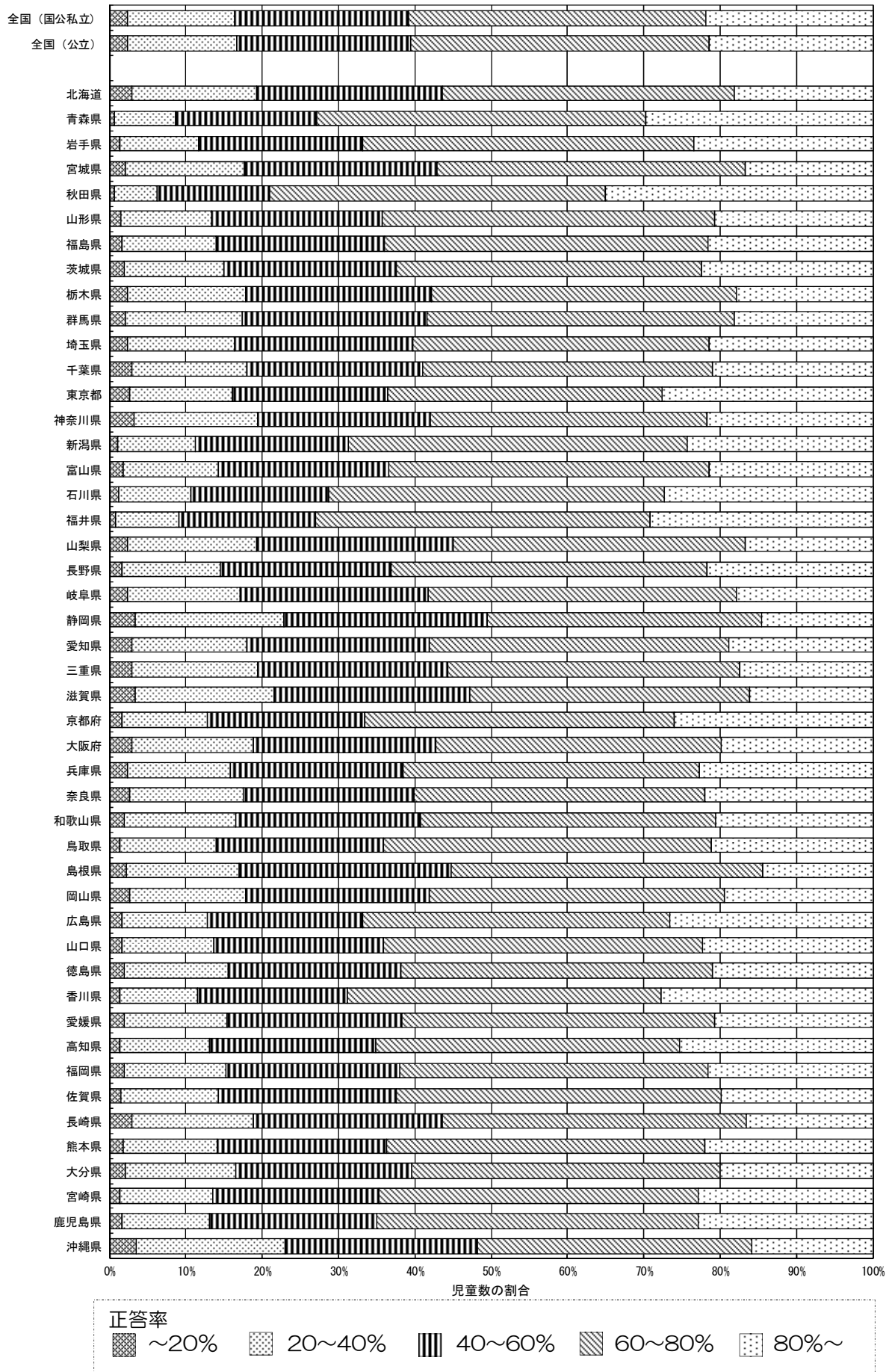
	国語A						国語B						算数A						算数B					
	25年度	(参考)24年度	(参考)22年度	(参考)21年度	(参考)20年度	(参考)19年度	25年度	(参考)24年度	(参考)22年度	(参考)21年度	(参考)20年度	(参考)19年度	25年度	(参考)24年度	(参考)22年度	(参考)21年度	(参考)20年度	(参考)19年度	25年度	(参考)24年度	(参考)22年度	(参考)21年度	(参考)20年度	(参考)19年度
全国(国公私立)	62.9	81.6-81.9	83.3-83.6	70.1	65.6	81.7	49.6	55.6-56.0	77.9-78.2	50.7	50.7	63.0	77.3	73.3-73.7	74.2-74.6	78.8	72.3	82.1	58.6	59.0-59.4	49.4-49.8	55.0	51.8	63.6
全国(公立)	62.7	81.4-81.7	83.2-83.5	69.9	65.4	81.7	49.4	55.4-55.8	77.7-78.0	50.5	50.5	62.0	77.2	73.1-73.5	74.0-74.4	78.7	72.2	82.1	58.4	58.7-59.1	49.1-49.5	54.8	51.6	63.6
北海道	60.4	78.3-79.6	79.1-80.6	66.0	60.5	79.4	46.4	52.6-54.4	72.5-74.6	45.9	46.4	58.0	74.9	68.7-70.4	67.8-69.9	74.1	66.4	76.8	54.0	54.7-56.8	44.1-46.1	51.5	47.7	58.6
青森県	68.7	84.1-85.3	86.7-87.9	73.6	70.8	85.0	52.9	57.7-59.6	79.9-81.6	54.0	55.0	66.0	80.7	76.6-78.1	77.2-79.0	83.6	77.2	85.8	60.5	60.4-62.3	51.5-53.8	57.1	53.8	66.4
岩手県	65.5	81.8-83.6	84.8-86.1	71.2	67.8	83.9	50.8	55.0-57.7	79.6-81.4	53.0	53.3	66.0	78.3	73.1-75.2	74.7-76.5	80.0	73.9	83.7	57.9	56.5-58.9	48.3-50.1	55.3	51.8	63.6
宮城県	60.8	81.2-82.3	82.7-84.0	67.4	64.2	80.6	47.6	55.1-56.8	76.9-78.5	49.8	49.2	61.0	76.3	71.9-73.5	72.9-74.7	77.5	71.3	81.1	56.5	57.2-59.1	46.8-48.7	54.0	50.4	61.4
秋田県	71.7	86.4-87.3	88.7-89.9	75.3	74.4	86.1	59.1	62.1-63.8	83.9-85.7	60.4	62.9	69.0	82.8	78.8-80.2	82.1-84.2	86.2	80.7	88.4	67.1	63.2-64.9	57.8-60.3	63.7	58.9	68.6
山形県	63.9	81.7-83.2	84.0-85.7	71.3	68.1	83.3	48.5	54.0-55.9	77.8-80.0	51.0	52.0	64.0	77.3	72.7-74.4	73.4-75.6	78.3	73.6	82.6	57.1	55.1-57.0	47.9-50.0	54.0	51.2	63.6
福島県	63.9	80.9-82.5	82.5-84.1	70.1	66.4	82.2	48.5	53.9-56.3	75.8-78.0	50.8	50.4	62.0	76.4	72.0-73.8	72.1-74.4	77.7	73.0	83.2	55.3	55.1-57.5	45.5-47.7	53.1	50.1	62.1
茨城県	63.7	81.9-83.1	83.0-84.3	68.9	65.9	81.1	49.7	56.2-58.1	76.0-77.6	50.7	49.8	61.0	77.2	73.9-75.5	72.9-74.5	77.1	71.9	80.0	58.9	59.3-61.2	48.4-50.2	53.5	50.7	62.9
栃木県	61.1	79.7-81.0	82.2-83.6	68.8	64.3	81.7	47.9	53.2-55.2	76.3-78.2	49.9	49.5	61.0	76.8	71.8-73.5	73.8-75.7	78.9	71.4	81.1	56.3	55.8-57.5	48.0-50.0	53.3	50.7	62.1
群馬県	61.3	79.8-81.5	82.6-84.1	70.9	66.2	82.2	47.5	52.5-54.5	75.5-77.4	50.2	50.0	62.0	76.4	72.3-74.2	72.7-74.4	78.3	72.7	82.6	55.0	55.8-57.8	47.0-48.8	54.1	50.8	62.9
埼玉県	62.6	80.6-81.9	83.5-84.8	70.1	66.2	82.2	49.7	54.5-56.3	78.0-79.8	51.0	51.8	64.0	76.2	71.3-72.9	73.8-75.5	77.5	72.3	82.1	57.7	57.8-59.6	48.6-50.5	55.5	52.5	63.6
千葉県	61.9	80.9-82.3	82.7-84.2	71.0	66.7	82.2	50.1	56.4-58.3	77.2-79.2	51.3	51.4	64.0	77.1	72.6-74.5	73.1-75.1	79.8	72.8	83.2	59.4	59.3-61.3	49.7-51.7	56.3	53.2	65.0
東京都	64.8	82.7-84.0	83.8-85.1	71.6	68.5	82.8	52.1	56.8-58.8	78.6-80.3	53.6	54.1	66.0	78.4	73.9-75.6	75.6-77.4	79.7	74.2	83.7	60.8	61.6-63.6	51.8-53.7	58.7	55.7	65.7
神奈川県	61.5	80.3-81.8	82.5-84.1	68.7	65.1	81.1	49.7	54.7-56.8	77.7-79.4	50.8	50.7	63.0	76.5	71.4-73.4	73.0-75.1	78.1	71.7	81.1	58.7	59.0-61.3	49.8-51.9	56.6	53.0	63.6
新潟県	66.3	81.2-82.6	83.5-84.7	71.2	67.0	82.8	50.4	54.6-56.8	76.9-78.7	50.3	50.7	64.0	79.5	73.3-75.1	72.4-74.5	78.3	71.9	82.1	59.3	57.7-59.9	47.3-49.1	54.1	51.1	63.6
富山県	63.8	82.8-84.3	84.5-85.7	72.4	68.8	83.9	50.7	59.3-61.5	77.5-79.4	51.7	54.3	66.0	79.7	75.7-77.3	75.2-77.0	80.5	76.0	85.8	60.4	60.2-62.4	49.5-51.5	56.8	55.1	66.4
石川県	67.6	84.2-85.4	83.8-85.4	72.7	67.6	83.3	54.3	59.4-61.2	78.3-80.4	53.4	55.2	64.0	80.2	77.4-79.2	75.0-77.2	80.7	74.7	84.2	64.3	62.5-64.6	50.6-52.6	57.5	54.8	64.3
福井県	68.6	85.1-86.3	86.3-87.5	75.5	70.5	85.0	54.3	59.2-61.2	80.1-82.4	57.0	57.5	67.0	81.6	77.4-79.2	77.6-79.5	84.2	78.3	86.8	65.1	61.6-64.0	52.9-55.6	58.7	56.5	67.9
山梨県	60.1	80.1-81.5	81.3-82.9	69.3	63.9	81.7	47.5	53.9-55.8	75.8-77.9	49.8	49.7	62.0	75.6	70.6-72.5	71.0-73.1	76.8	71.4	82.1	55.8	56.2-58.3	45.8-47.8	53.6	51.0	62.1
長野県	63.7	81.8-83.0	83.4-84.9	70.4	66.5	82.2	50.3	54.9-56.7	77.7-79.5	51.1	51.2	63.0	77.8	72.4-74.1	72.9-75.0	79.5	72.1	83.7	59.5	57.6-59.6	47.6-49.4	54.4	51.2	64.3
岐阜県	61.3	79.8-81.2	82.5-83.9	69.2	65.0	82.2	49.1	53.5-56.2	77.6-79.5	51.0	53.2	66.0	76.2	70.8-73.2	71.8-73.8	77.2	70.4	81.6	56.0	56.3-58.8	47.3-49.4	54.7	52.1	64.3
静岡県	57.7	79.7-81.1	81.8-83.3	70.8	65.6	82.8	47.3	53.2-55.1	77.6-79.2	49.2	52.1	65.0	76.2	71.2-73.1	72.3-74.1	79.3	72.0	82.6	56.6	56.5-58.7	47.6-49.3	54.1	51.4	63.6
愛知県	61.2	79.8-81.4	80.5-82.5	70.4	64.4	80.6	48.6	54.0-56.1	75.6-77.8	49.7	49.9	62.0	76.2	71.1-73.0	72.0-74.2	79.2	71.9	82.6	59.5	58.3-60.4	47.7-50.0	55.2	51.9	65.0
三重県	60.3	79.0-80.2	80.9-82.5	67.8	62.9	80.6	46.7	51.8-53.5	74.2-76.2	46.9	47.1	60.0	75.8	71.4-73.0	71.5-73.4	76.0	70.9	81.1	55.3	56.0-57.6	46.5-48.2	52.5	49.7	61.4
滋賀県	58.8	79.5-81.2	81.5-83.2	68.3	62.3	80.6	46.4	52.5-55.0	76.6-78.6	48.0	47.8	60.0	74.7	70.1-72.2	71.8-73.8	76.8	70.3	80.5	55.1	55.0-57.5	46.6-48.7	53.4	50.4	62.1
京都府	65.8	82.7-83.8	84.8-86.2	71.6	68.4	82.8	52.1	57.2-59.1	79.4-81.3	53.4	53.7	64.0	79.2	75.7-77.3	77.3-79.2	82.2	75.3	85.3	61.1	60.9-62.7	51.6-53.9	56.6	53.3	66.4
大阪府	61.2	79.8-81.3	81.1-82.7	68.3	62.7	79.4	47.9	52.5-54.4	74.8-76.9	49.4	47.0	58.0	77.1	73.3-75.1	73.7-75.7	78.4	71.2	80.5	57.3	57.3-59.5	47.0-49.2	53.8	49.9	60.7
兵庫県	63.3	81.7-83.1	82.8-84.1	70.7	66.1	81.7	49.9	54.5-56.4	77.0-78.8	50.9	50.8	62.0	77.4	73.0-74.8	72.9-74.8	79.2	73.0	82.6	59.2	58.4-60.3	47.8-49.6	54.8	52.2	63.6
奈良県	62.6	81.9-83.3	83.3-84.8	70.6	66.2	82.2	50.1	55.8-58.0	77.9-79.9	51.4	51.5	63.0	78.6	74.6-76.4	73.8-75.8	79.8	73.0	82.6	58.5	58.9-61.1	49.1-51.1	56.0	52.4	64.3
和歌山県	62.4	79.2-80.7	81.8-83.2	69.8	64.3	81.1	47.5	50.9-52.9	75.0-77.0	48.4	47.4	59.0	76.4	72.0-73.8	72.6-74.6	79.4	72.7	82.6	56.9	55.8-57.7	46.9-48.9	53.0	48.9	62.9
鳥取県	63.9	82.5-83.9	85.0-86.6	70.9	68.0	84.4	50.4	55.0-57.3	80.0-82.1	52.5	51.7	64.0	78.1	72.0-73.7	75.4-77.5	81.5	73.3	84.2	60.2	56.2-58.3	50.3-52.5	55.9	52.2	65.0
島根県	59.9	80.4-82.3	81.4-83.1	68.1	63.2	81.1	46.8	55.2-57.4	76.6-78.6	50.3	48.6	62.0	74.3	69.8-72.0	70.0-71.9	77.9	70.6	82.1	55.8	55.2-57.5	46.2-48.0	52.7	49.9	62.9
岡山県	61.4	79.7-80.9	83.0-84.5	68.6	63.5	80.6	47.7	52.3-54.4	76.6-78.4	49.3	48.9	60.0	74.6	69.1-71.0	71.8-73.7	77.6	69.5	80.5	57.2	54.6-56.7	48.2-50.1	52.4	49.3	62.1
広島県	65.8	83.0-84.3	84.7-86.0	72.9	67.8	83.3	52.7	57.1-59.1	80.2-82.1	53.8	53.3	65.0	79.2	74.6-76.3	76.4-78.1	81.3	74.3	84.7	61.3	59.5-61.6	51.0-52.9	56.6	53.6	65.0
山口県	64.3	81.7-82.9	83.2-84.5	68.6	63.4	80.6	50.2	55.3-57.4	78.1-80.2	49.6	47.5	60.0	77.9	72.6-74.4	73.2-74.9	78.6	69.2	80.5	59.9	57.0-59.1	49.2-51.0	52.8	48.7	62.1
徳島県	63.3	82.0-83.4	83.5-84.8	71.6	65.6	80.6	49.0	54.4-56.9	76.6-78.5	51.2	50.3	58.0	75.8	72.6-74.4	74.8-76.3	80.2	73.9	81.6	58.4	56.2-58.7	48.9-50.6	52.9	50.7	61.4
香川県	66.8	83.2-84.5	83.1-84.4	71.2	67.2	83.9	52.9	58.8-60.8	80.2-81.8	54.5	53.8	68.0	78.1	73.9-75.7	74.4-76.1	80.5	74.1	85.3	62.1	60.4-62.4	49.5-51.4	55.9	54.3	67.1
愛媛県	63.1	80.0-81.3	82.1-83.7	70.4	64.7	82.2	50.7	54.5-56.3	76.4-78.5	50.4	50.3	62.0	77.6	72.5-74.1	72.3-74.3	79.3	71.2	82.6	61.0	58.6-60.4	47.3-49.6	54.3	50.7	63.6
高知県	65.3	81.5-82.7	82.2-83.5	68.5	65.0																			

<中学校>

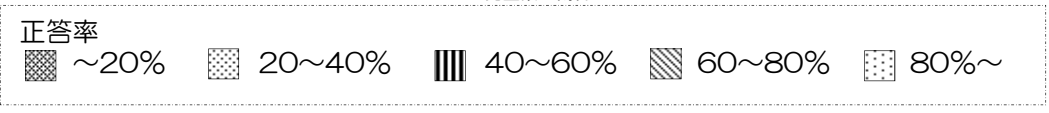
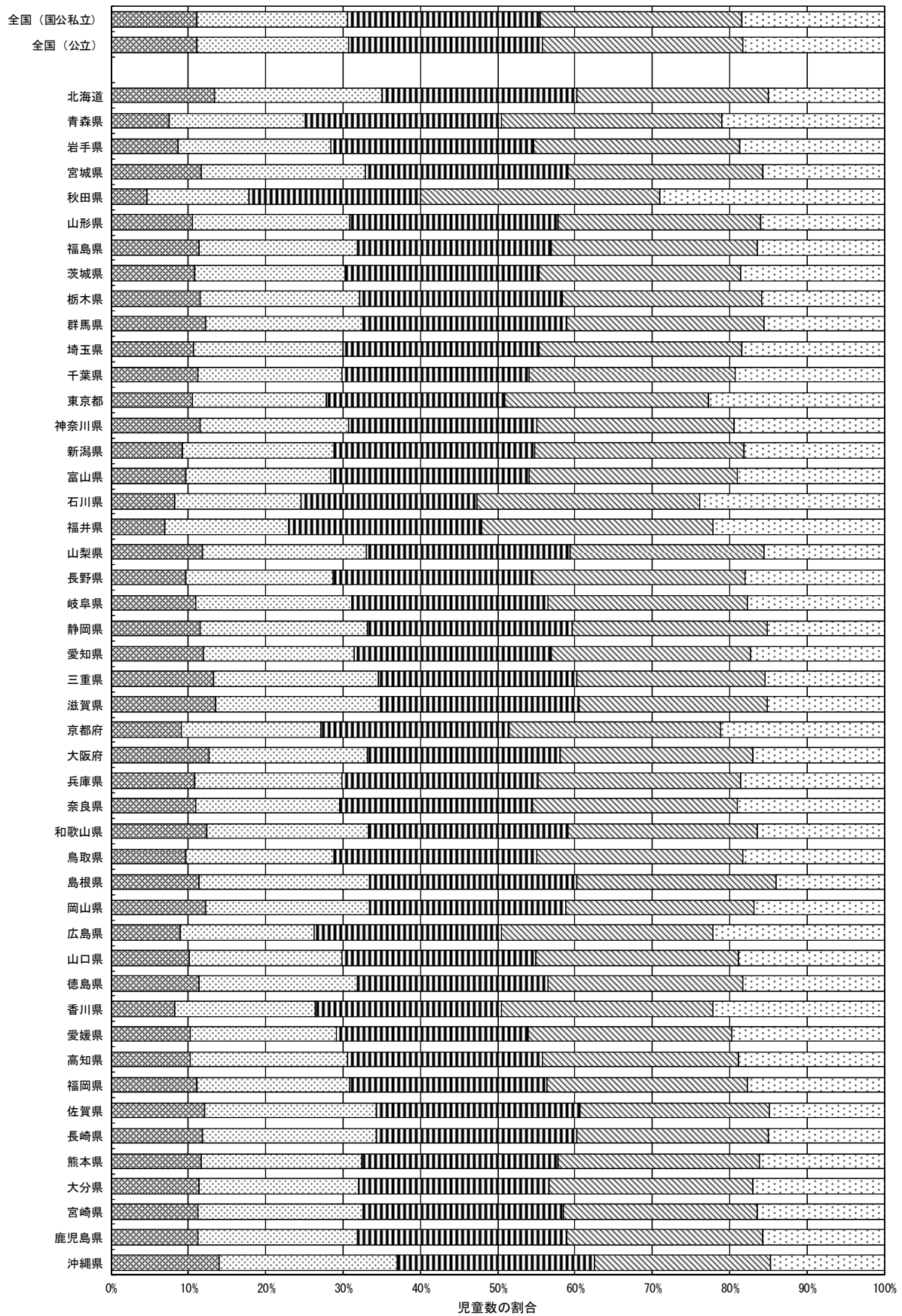
平均正答率(%)

	国語A						国語B						数学A						数学B					
	25年度	(参考) 24年度	(参考) 22年度	(参考) 21年度	(参考) 20年度	(参考) 19年度	25年度	(参考) 24年度	(参考) 22年度	(参考) 21年度	(参考) 20年度	(参考) 19年度	25年度	(参考) 24年度	(参考) 22年度	(参考) 21年度	(参考) 20年度	(参考) 19年度	25年度	(参考) 24年度	(参考) 22年度	(参考) 21年度	(参考) 20年度	(参考) 19年度
全国(国公私立)	76.8	75.9-76.2	76.0-76.3	77.4	74.1	82.2	68.0	64.1-64.4	66.3-66.7	75.0	61.6	72.0	64.3	63.4-63.8	65.9-66.4	63.4	63.9	72.8	42.4	50.8-51.4	44.9-45.6	57.6	50.0	61.2
全国(公立)	76.4	75.0-75.2	75.0-75.2	77.0	73.6	81.6	67.4	63.2-63.4	65.1-65.5	74.5	60.9	72.0	63.7	62.0-62.3	64.4-64.8	62.7	63.1	71.9	41.5	49.2-49.5	43.1-43.5	56.9	49.2	60.6
北海道	76.0	73.6-74.8	74.1-75.3	76.1	72.7	80.5	66.2	62.4-63.8	62.1-63.7	72.6	59.0	70.0	62.3	59.9-61.6	61.8-63.6	61.1	60.4	68.6	39.1	47.1-49.1	40.1-42.4	55.4	46.0	57.6
青森県	78.8	75.5-76.5	76.5-77.9	78.9	75.3	83.8	67.7	64.8-66.2	66.1-67.9	75.7	61.7	73.0	65.0	61.6-63.2	65.5-68.0	64.2	65.0	73.9	42.4	47.9-49.9	43.2-45.9	56.0	50.2	61.2
岩手県	78.2	75.2-76.6	75.9-77.0	78.2	74.3	82.7	68.1	63.3-65.1	63.9-65.7	74.2	60.6	73.0	59.9	57.8-60.3	59.3-61.3	57.9	58.1	68.6	37.4	45.9-48.9	39.5-41.5	53.0	45.9	58.2
宮城県	77.6	75.6-76.8	75.6-76.7	78.1	73.8	80.8	68.6	64.9-66.2	66.0-67.4	76.4	61.8	71.0	62.2	59.9-61.8	63.4-65.4	62.1	61.4	70.3	39.7	49.4-51.6	42.9-45.1	57.7	49.1	59.4
秋田県	81.9	79.2-80.2	79.3-80.2	82.3	78.6	85.4	74.6	69.7-70.8	71.0-72.4	81.8	66.8	77.0	68.9	66.6-68.2	70.0-71.7	68.8	70.2	77.5	47.5	55.6-57.7	49.0-50.9	63.4	54.7	65.3
山形県	78.9	76.6-78.1	76.4-77.5	80.4	76.7	84.6	69.1	66.0-67.9	67.9-69.3	78.7	64.6	76.0	63.1	61.1-63.4	64.2-65.8	65.1	65.5	75.3	40.7	48.8-51.4	43.7-45.5	59.2	51.9	64.1
福島県	77.3	76.0-77.2	74.3-75.7	78.3	74.4	82.2	66.4	63.6-65.2	64.1-66.0	75.7	60.8	73.0	61.0	60.0-61.9	61.3-64.0	62.3	61.4	71.7	38.1	47.9-50.4	40.5-43.3	56.3	48.3	60.0
茨城県	77.2	74.1-75.5	74.9-76.0	77.6	74.0	81.9	69.5	64.7-65.9	65.6-67.1	75.8	62.4	73.0	62.9	61.0-62.8	62.9-64.7	60.9	63.8	70.6	42.1	49.5-51.8	42.4-44.2	56.6	48.2	59.4
栃木県	77.2	74.7-76.0	74.2-75.5	77.8	73.7	82.7	68.0	63.0-64.4	64.9-66.6	76.5	60.8	74.0	63.8	60.5-62.7	62.6-65.0	62.8	62.4	71.9	41.1	48.4-50.8	41.4-44.1	57.9	48.6	60.6
群馬県	78.1	76.6-78.0	76.2-77.6	79.0	75.7	83.0	68.8	64.7-66.2	67.9-69.5	77.3	63.7	74.0	64.9	62.7-64.7	65.9-67.9	64.7	65.5	73.9	42.8	51.8-54.1	45.5-47.9	60.3	52.1	63.5
埼玉県	76.5	74.1-75.3	74.3-75.6	76.5	73.2	81.6	68.8	62.5-63.8	65.3-67.0	74.2	61.1	72.0	62.8	59.3-61.1	62.6-64.9	61.6	61.1	70.6	40.6	47.1-49.1	41.4-43.8	55.9	47.8	60.0
千葉県	76.2	74.3-75.5	74.8-75.9	76.8	72.8	81.6	68.1	62.9-64.2	65.8-67.3	74.6	61.6	72.0	63.2	60.5-62.2	63.0-64.9	61.6	61.7	70.0	41.5	47.7-49.9	42.2-44.3	56.7	49.1	60.0
東京都	77.3	75.4-76.7	75.6-76.9	77.0	73.5	81.6	69.3	63.3-64.7	65.8-67.6	73.8	61.4	72.0	65.2	62.8-64.8	64.5-66.6	62.6	62.6	71.4	43.2	50.1-52.6	42.9-45.3	56.8	48.9	60.6
神奈川県	76.3	74.3-75.6	74.7-75.8	75.6	73.2	81.1	68.9	62.9-64.2	64.4-65.9	73.2	61.1	72.0	63.8	60.3-62.2	63.6-65.5	62.2	62.6	70.3	41.9	48.7-50.9	42.5-44.6	56.7	48.6	60.6
新潟県	76.5	74.4-75.5	75.1-76.4	77.7	73.6	83.0	66.6	62.0-63.3	65.7-67.5	75.1	61.3	73.0	62.7	60.2-62.0	62.3-64.6	61.9	62.8	72.2	39.2	46.3-48.5	40.8-43.4	56.7	49.3	60.6
富山県	78.9	77.6-78.6	78.0-79.0	81.8	78.0	85.7	70.4	66.4-67.5	68.7-70.4	80.1	67.1	77.0	65.8	65.7-67.2	67.7-69.6	68.4	69.9	77.2	43.9	53.7-55.5	48.4-50.5	63.6	55.2	65.9
石川県	78.3	76.5-77.6	77.0-78.1	79.9	76.0	83.8	70.7	65.8-67.1	66.9-68.5	77.8	64.2	76.0	66.6	65.4-67.1	67.2-69.2	67.0	66.4	76.1	45.0	53.6-55.8	45.8-48.2	61.9	53.1	65.3
福井県	80.0	78.3-79.5	78.8-80.0	82.0	78.4	84.9	71.7	66.6-68.4	69.8-71.7	80.8	67.3	77.0	69.9	67.2-69.0	71.6-73.1	70.5	72.1	80.3	49.2	55.1-57.3	51.9-53.8	65.2	58.5	67.6
山梨県	76.9	75.4-77.0	74.8-76.0	77.6	74.7	82.2	67.4	63.6-65.9	66.0-67.8	77.1	62.1	74.0	62.1	59.2-61.9	62.0-64.7	61.9	62.3	71.4	40.0	49.7-53.0	41.4-43.9	57.1	50.0	61.8
長野県	76.8	75.6-77.0	73.6-75.2	77.9	74.3	83.5	65.9	62.6-65.0	62.6-65.0	74.8	61.3	73.0	61.9	61.2-63.5	61.1-64.1	62.5	63.3	73.1	40.2	47.1-50.4	39.7-42.8	56.7	50.4	61.8
岐阜県	77.1	75.1-76.2	77.0-78.1	79.1	75.7	83.2	70.2	65.2-66.5	67.8-69.1	78.5	65.3	76.0	66.6	64.2-66.0	66.7-68.6	65.8	67.0	75.8	45.7	52.0-54.1	47.5-49.6	62.7	52.9	65.3
静岡県	77.1	75.6-76.6	76.0-77.2	79.2	75.4	83.0	68.7	63.4-64.7	66.8-68.5	77.3	64.1	76.0	65.0	64.5-66.1	66.2-68.2	65.8	67.0	75.6	44.6	51.7-53.7	45.3-47.6	60.7	52.7	63.5
愛知県	76.3	74.7-75.8	74.4-75.8	77.4	74.5	82.4	67.1	63.0-64.2	64.3-66.1	75.0	62.1	73.0	66.3	64.2-65.8	65.9-68.1	65.9	67.0	75.8	44.5	49.9-51.9	44.1-46.6	59.7	53.1	64.1
三重県	75.0	73.3-74.7	73.5-74.7	75.9	72.6	81.6	65.8	60.4-61.8	63.3-65.0	73.3	59.5	71.0	63.2	60.7-62.6	64.3-66.4	62.7	63.8	73.1	39.3	46.9-49.1	41.7-43.8	56.5	49.3	60.6
滋賀県	75.5	74.2-75.3	74.2-75.6	76.8	72.5	80.8	65.6	61.4-62.6	63.4-65.3	74.0	59.6	69.0	64.4	62.2-63.8	64.9-67.1	63.6	64.6	72.5	40.4	47.4-49.3	42.8-45.5	57.2	48.1	58.8
京都府	76.3	74.2-75.4	74.2-75.3	75.9	73.5	81.4	68.2	61.5-62.9	63.4-64.8	73.0	61.0	72.0	64.2	61.6-63.3	62.8-64.6	62.5	64.1	72.8	42.9	47.3-49.6	40.9-42.9	55.5	49.5	61.2
大阪府	73.3	72.5-73.7	71.0-72.3	72.7	70.5	79.2	63.0	58.4-59.7	59.3-61.1	68.3	55.3	65.0	61.7	59.4-61.0	61.4-63.6	59.9	60.6	69.4	38.8	45.0-46.9	38.4-40.6	52.5	45.2	55.3
兵庫県	76.8	75.5-76.5	74.2-75.3	77.2	73.3	81.9	67.0	61.6-62.8	63.9-65.4	74.0	59.6	70.0	65.9	63.0-64.5	66.1-68.0	64.7	65.3	74.2	43.8	48.8-50.6	43.6-45.8	57.9	50.3	61.2
奈良県	77.1	75.9-77.5	75.1-76.2	78.2	74.6	83.0	67.5	62.0-63.8	64.3-65.7	76.1	62.3	73.0	65.5	62.3-64.7	65.9-67.8	65.3	66.3	74.4	42.9	49.0-51.8	44.3-46.4	59.0	51.5	61.8
和歌山県	74.4	73.9-75.2	71.8-73.0	74.9	71.9	80.3	64.3	61.0-62.5	61.1-62.7	70.7	57.0	67.0	63.4	62.0-63.8	64.0-65.7	63.1	64.3	72.8	40.3	47.4-49.7	41.0-43.2	56.0	48.8	58.2
鳥取県	77.6	75.3-76.6	76.6-77.7	79.3	75.5	81.9	68.6	64.3-66.0	66.2-67.9	76.4	61.3	72.0	64.8	63.1-65.0	64.8-67.4	64.0	64.4	73.3	43.0	48.1-50.8	43.2-45.7	58.4	50.9	61.2
島根県	77.2	74.1-75.1	76.8-78.0	79.0	75.3	82.4	69.1	65.0-66.2	67.0-68.6	78.1	63.2	74.0	62.9	60.2-61.8	63.2-66.1	62.2	62.1	71.1	40.8	46.9-48.7	42.2-45.0	58.4	50.7	61.2
岡山県	76.4	73.4-74.8	74.1-75.3	77.7	73.2	81.9	66.4	60.7-62.4	62.8-64.4	73.8	58.8	70.0	62.8	60.2-62.5	63.1-64.8	62.4	61.7	71.9	40.3	46.1-49.0	40.7-42.9	56.4	47.7	58.8
広島県	76.7	74.8-75.9	75.3-76.7	77.6	74.2	82.4	69.2	62.9-64.3	64.8-66.7	74.8	61.0	72.0	64.8	61.5-63.3	63.7-66.0	62.9	64.2	73.3	43.5	48.7-50.9	42.0-44.7	56.2	48.7	60.6
山口県	77.3	74.7-75.8	75.0-76.4	78.0	74.1	82.7	68.3	63.4-64.8	66.0-67.9	76.3	60.7	73.0	65.5	62.8-64.4	65.2-67.3	64.0	63.3	73.3	44.2	49.8-51.9	43.9-46.3	58.6	50.0	62.4
徳島県	76.5	74.1-75.1	74.4-75.8	77.0	73.6	82.2	64.9	60.8-62.1	63.1-65.0	73.5	59.5	71.0	65.4	62.3-63.9	66.7-68.7	65.3	66.8	76.4	42.6	46.1-48.1	42.7-45.3	56.9	51.2	61.8
香川県	76.6	74.7-75.8	75.6-76.7	79.1	75.7	82.7	67.0	61.6-62.9	65.3-66.9	75.9	62.7	74.0	66.3	62.4-64.1	67.2-69.1	66.5	68.0	76.1	44.6	48.3-50.4	45.3-47.5	59.6	52.6	62.9
愛媛県	76.5	75.7-77.4	74.5-76.0	77.8	74.1	82.7	67.2	62.5-64.3	63.9-65.7	75.5	60.9	72.0	64.5	62.9-65.4	64.7-66.7	63.8	64.9	72.5	44.0	49.6-52.6	43.3-45.7	58.4	51.5	62.9
高知県	74.3	71.8-73.1	72.0-73.3	74.2	70.1	78.1																		

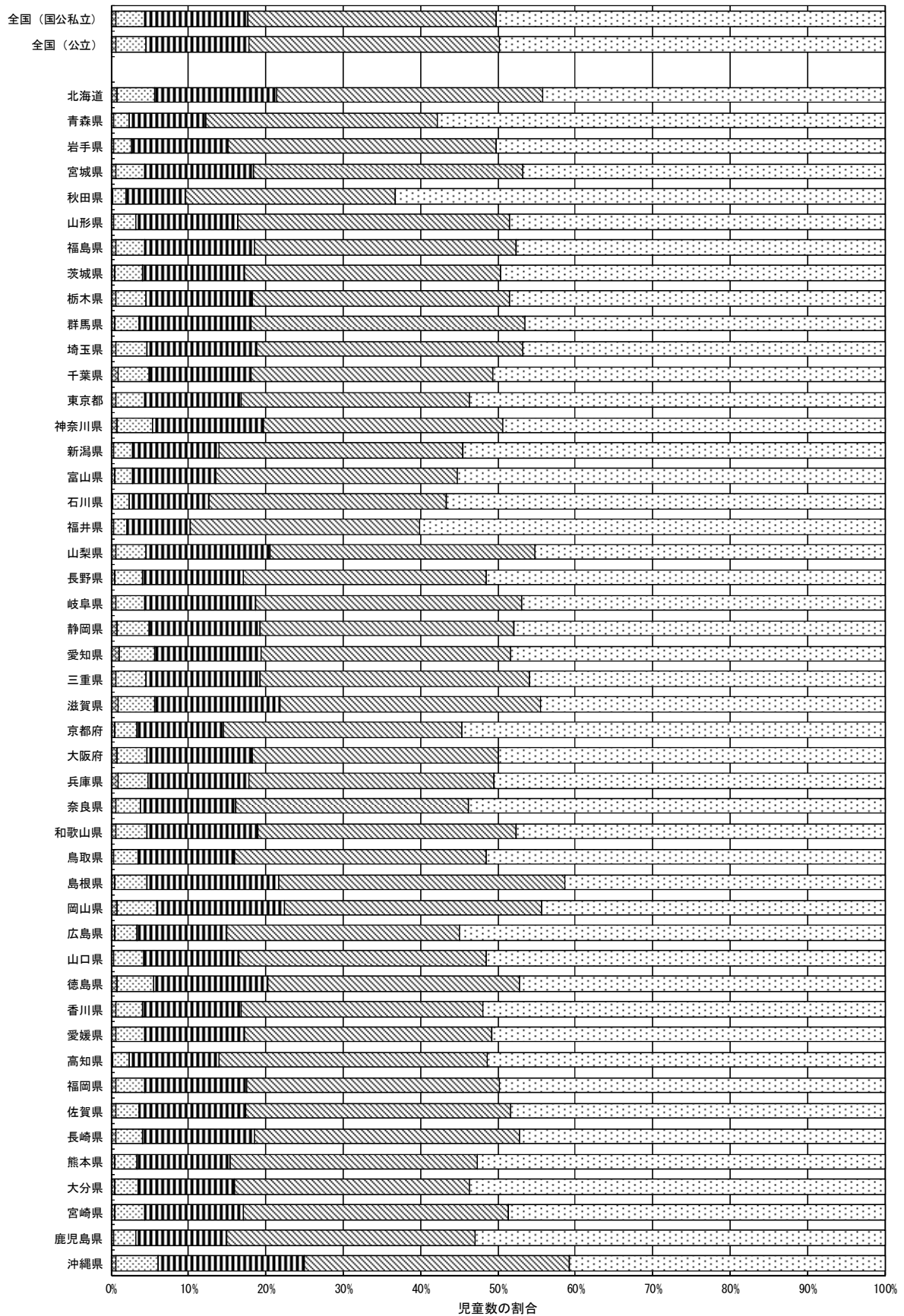
○都道府県別・児童生徒の正答率分布一覽
 <小学校・国語A>



<小学校・国語B>

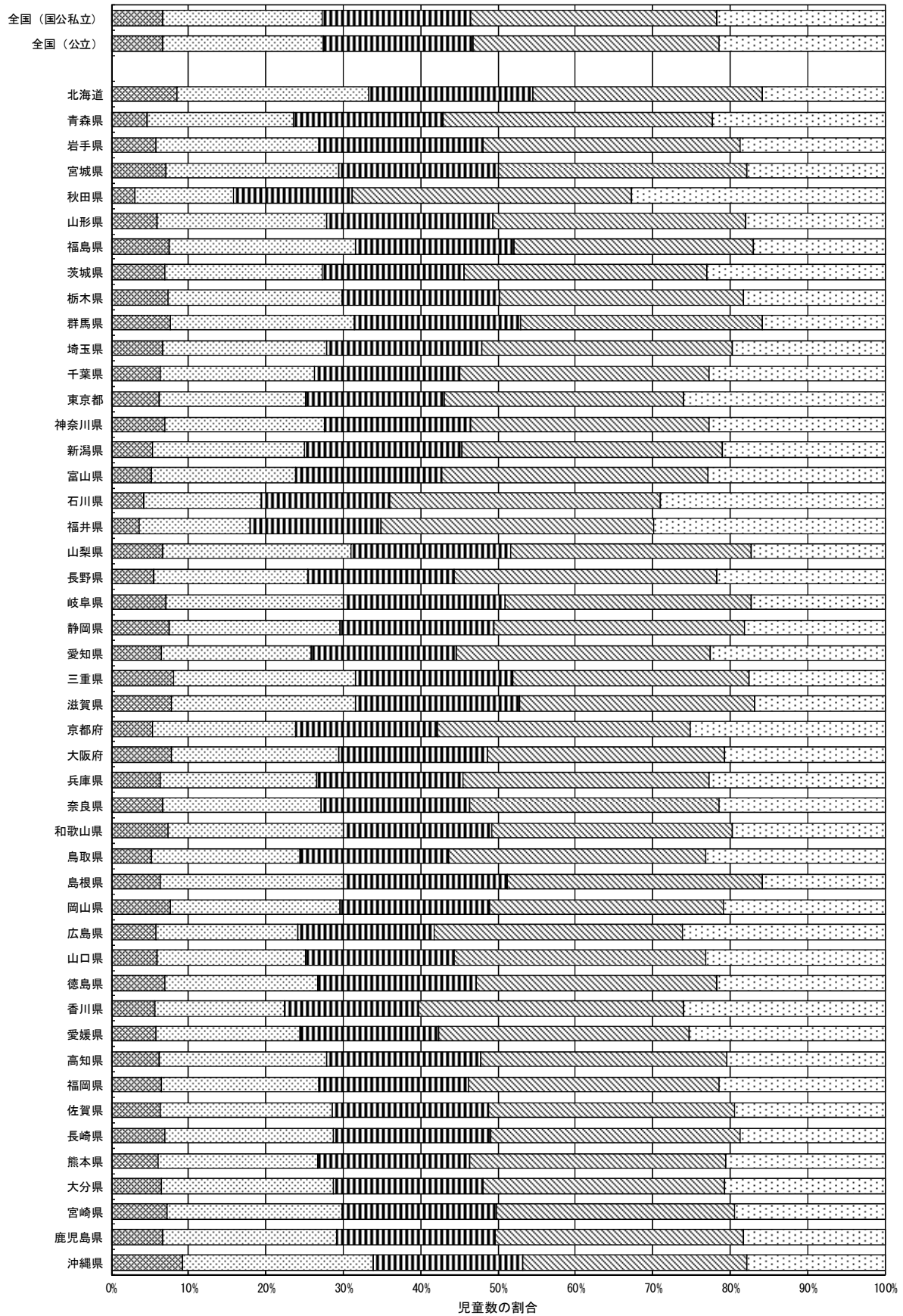


<小学校・算数A>

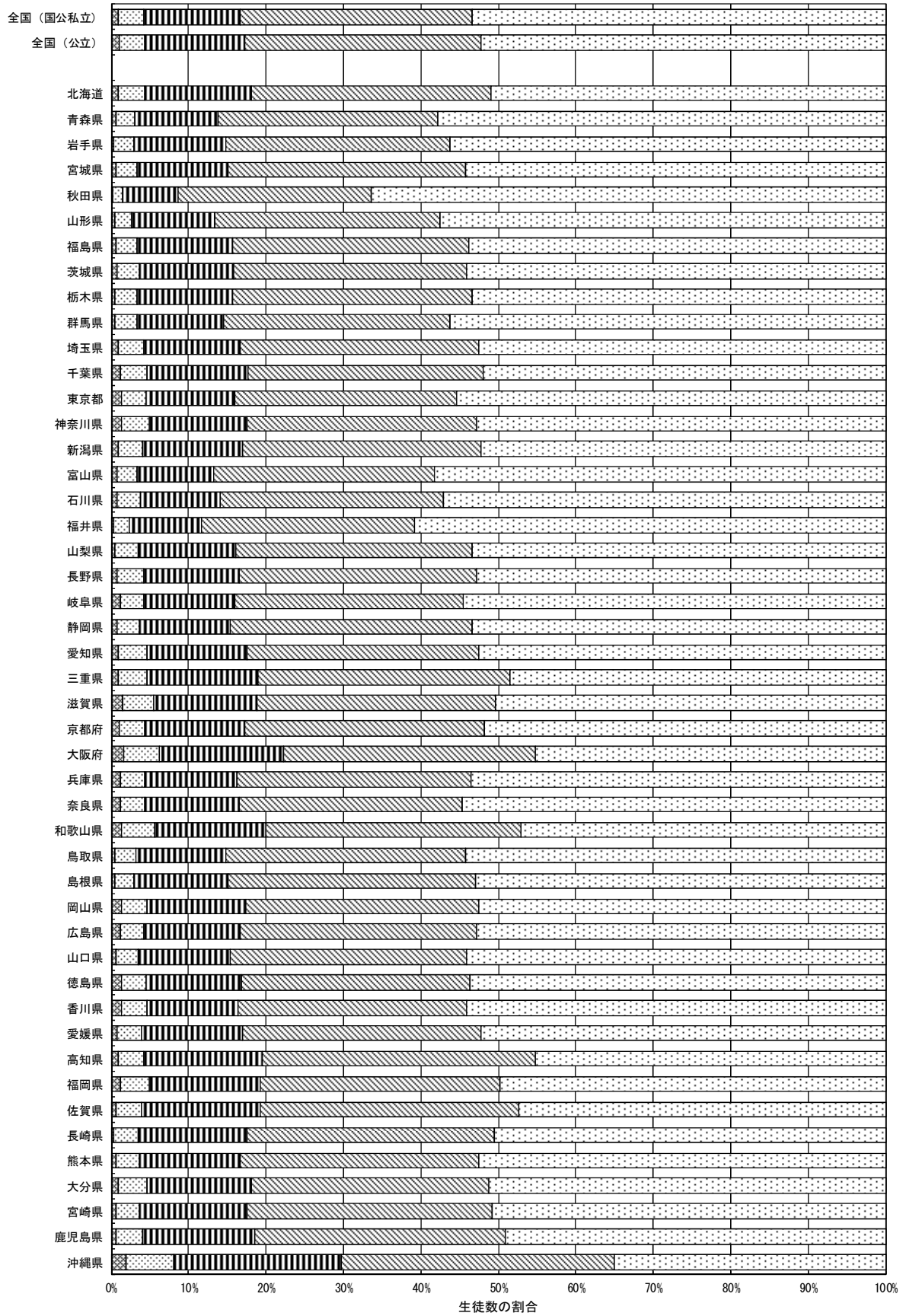


正答率
 ~20% 20~40% 40~60% 60~80% 80~

<小学校・算数B>

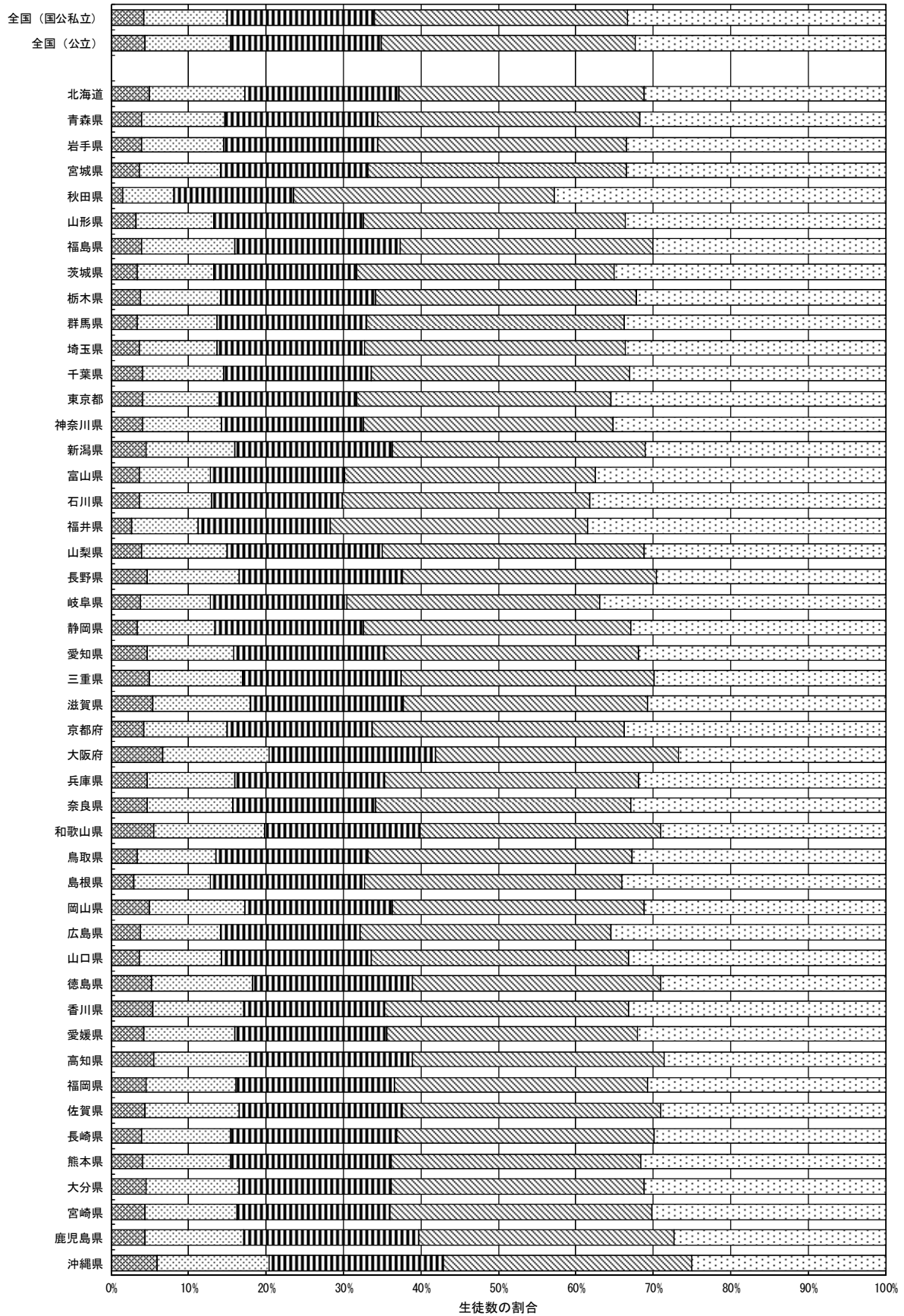


< 中学校・国語A >

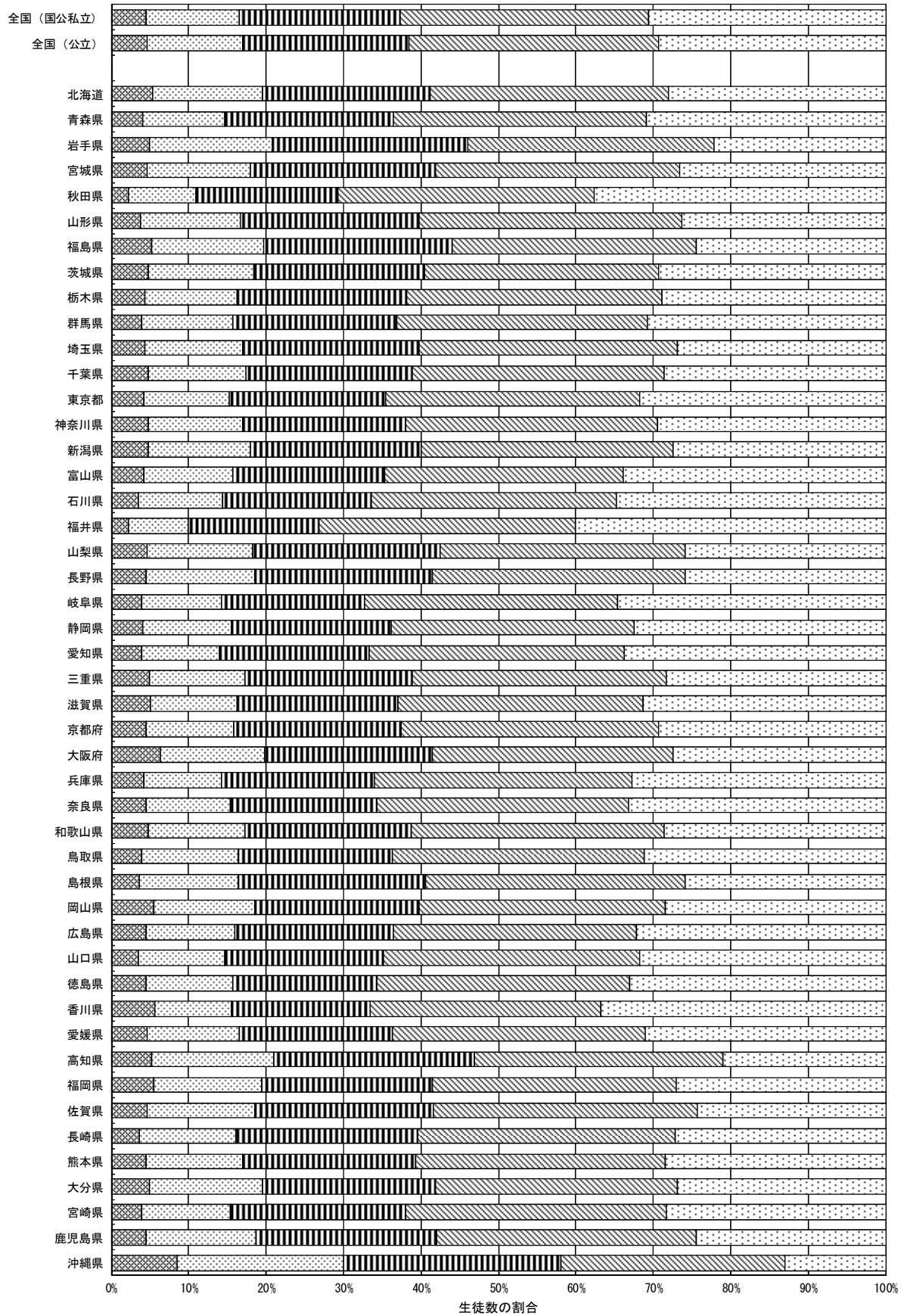


正答率
 ~20% 20~40% 40~60% 60~80% 80%~

< 中学校・国語B >

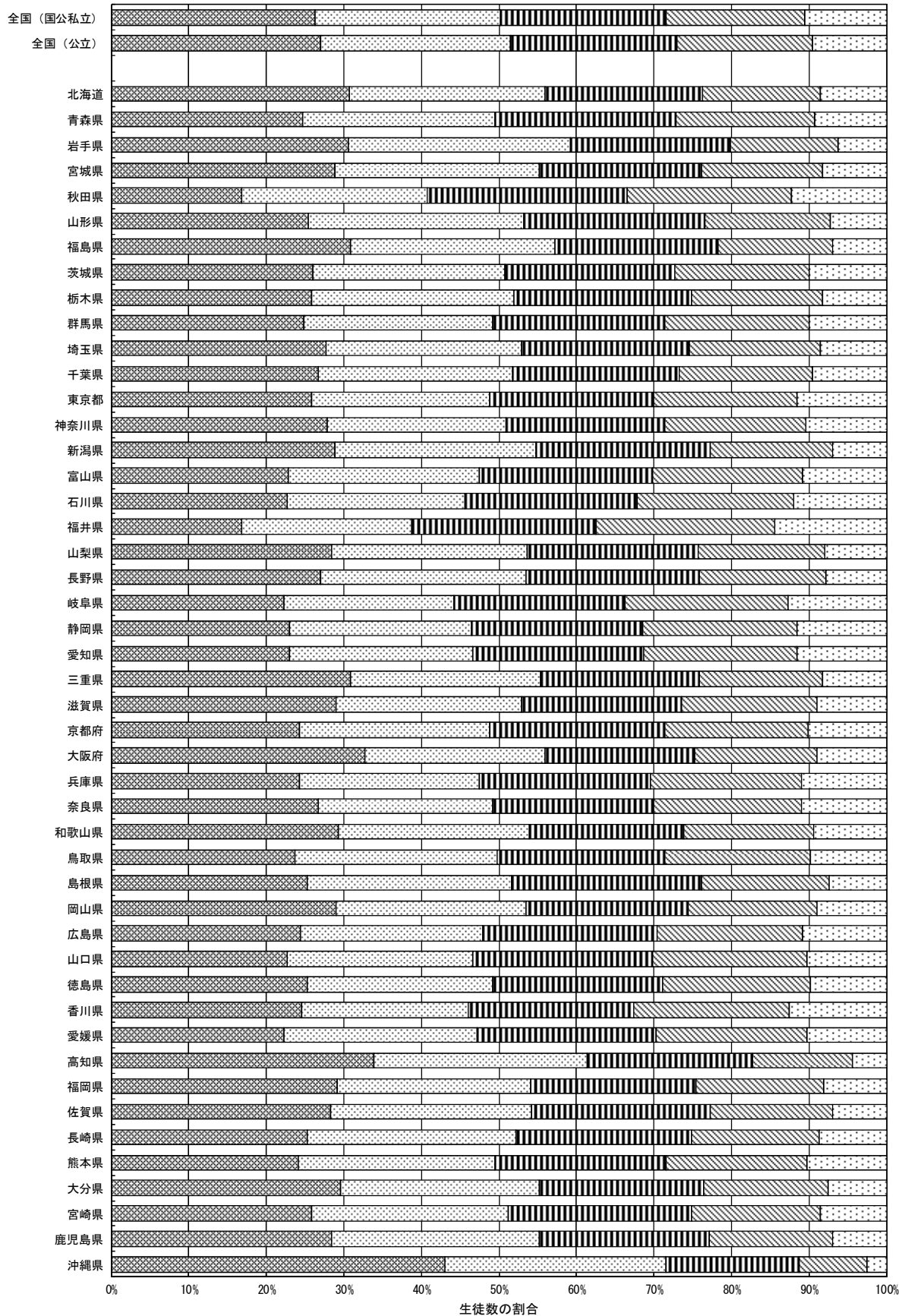


< 中学校・数学A >



正答率
 ~20% 20~40% 40~60% 60~80% 80%~

< 中学校・数学B >



教科に関する調査結果

● 今年度の調査問題の主な特徴

「4年間のまとめ」(※)で指摘した課題等、これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点からの問題を出題

※ 国立教育政策研究所において、平成19～22年度の4回の調査結果を分析して、成果と課題を整理した報告書

● 調査結果の概略

- これまでの調査で見られた課題について、依然として課題が見られるものがある。
- 一方、今回の調査を見る限り、改善状況が見られたものがあるが、これらについては引き続き注視が必要。

		依然として課題が見られるもの	改善状況が見られたが、引き続き注視が必要なもの
小学校	国語 【A問題】 平均正答数:11.3問/18問 平均正答率:62.9% 【B問題】 平均正答数:5.0問/10問 平均正答率:49.6%	複数の内容を含む文の中の語句の役割や語句相互の関係を理解すること (接続語を使って1文を2文に分けて書く) 設問 【A③二(1)】(23.6%) 調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと (リーフレットの編集に当たり、編集会議での意見を受け、該当する資料から必要となる複数の内容を取り上げて、自分の考えを具体的に書く設問 【B②三】(17.9%))	ことわざの意味を理解すること (「石の上にも三年」の意味として適切なものを選択する設問 【A②一】(71.3%))
	算数 【A問題】 平均正答数:14.7問/19問 平均正答率:77.3% 【B問題】 平均正答数:7.6問/13問 平均正答率:58.6%	乗法や除法の意味を理解すること (2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ設問 【A④】(50.2%))	求積に必要な情報(図形の長さ・性質)を取り出して面積を求めること (台形の面積を求める式と答えを書く設問 【A⑤(3)】(73.5%))
中学校	国語 【A問題】 平均正答数:24.6問/32問 平均正答率:76.8% 【B問題】 平均正答数:6.1問/9問 平均正答率:68.0%	説明的な文章について、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと (新聞記事の書き方の特徴を説明したものとして適切なものを選択する設問 【B③一】(61.6%))	必要となる情報を取り出し、関係付けて読むこと (市民センターの催し物案内を読み、前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座を選択する設問 【A④二】(70.6%))
	数学 【A問題】 平均正答数:23.1問/36問 平均正答率:64.3% 【B問題】 平均正答数:6.8問/16問 平均正答率:42.4%	一定の事柄が成り立つ理由や予想した事柄を数学的な表現を用いて説明すること (安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する設問 【B①(3)】(24.7%)) (2けたの自然数と、その数の十の位と一の位を入れかえた数の和を予想し、説明する設問 【B②(2)】(39.3%))	具体的な事象における数量の関係性を捉え、連立二元一次方程式をつくること (ノートと鉛筆の値段を求めるための連立二元一次方程式をつくる設問 【A③(3)】(83.1%))

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果

- ◆児童生徒の状況や学校の指導方法等をきめ細かく把握・分析するため、本年度は、新規項目を追加して実施。
- ◆今後、「教科に関する調査結果」との関係等を分析し、教育施策や指導方法の改善・充実に活用。（教科とのクロス集計等は12月公表予定）

●授業の中で分からないことがあったとき、小学生の約5%、中学生の約9%が「そのままにしておく」と回答。

・授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか（新規項目）

	小学生	中学生
先生に尋ねる	25.8%	24.8%
（その場で）	15.9%	11.9%
（授業が終わってから）	9.9%	12.9%
友達に尋ねる	31.8%	41.5%
家の人に尋ねる	23.9%	7.0%
自分で調べる	11.8%	16.0%
そのままにしておく	5.4%	8.8%

●家庭学習の定着が着実に進んでいる。

- 家で授業の復習をしている小学生・中学生に、増加傾向がうかがえる。
 - ・小学生（H19: 40.3% → H25: 51.5%）
 - ・中学生（H19: 39.5% → H25: 48.8%）
- 家庭学習の課題（宿題）を与えた学校に、若干の増加傾向がうかがえる。
 - ・小学校（国語 H19: 97.0% → H25: 99.5%、算数 H19: 97.5% → H25: 99.5%）
 - ・中学校（国語 H19: 84.4% → H25: 89.7%、数学 H19: 88.8% → H25: 92.8%）

●比較的多くの小学生・中学生が早期に英語を学び始めている。

- 児童生徒が、学校の授業や英会話教室で英語を学び始めた時期（新規項目）

	小学校入学前	小1・小2	小3・小4	小5・小6	中1以降
小学生	17.9%	23.9%	25.0%	32.8%	—
中学生	11.2%	11.8%	18.6%	38.4%	19.8%

- 英語の学習が好きと回答している小学生は約76%、中学生は約53%である。（新規項目）

●地域による学校支援活動が進展し、効果を発揮している。

- 「保護者や地域の人が学校の教育活動等に参加してくれる」と回答している学校が、増加傾向
 - ・小学校（H21:73.0% → H25:80.7%）
 - ・中学校（H21:54.4% → H25:64.4%）
- 約9割の学校が、「保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があった」と回答（新規項目）
 - ・小学校（約95%）
 - ・中学校（約87%）